I-O DATA

USB接続
ｺﾝﾊﾟｸﾄﾌﾗｯｼｭ＆ｽﾏｰﾄﾒﾃﾞｨｱ対応ﾄﾞﾗｲﾌﾞ
USB-DFRWA
取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

89885-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- Apple,Macintosh,Power Macintosh,PowerBook,Mac は、米国 Apple Computer,inc.の登録商標です。
- iMac,iBook は、米国 Apple Computer,inc.の商標です。
- Compact Flash™は、SanDisk Corp の商標です。
- SmartMedia™は、株式会社東芝の商標です。
- Ulead Photo Explorer は、ユーリードシステムズ社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

USB-DFRWA 取扱説明書
2001.May.10 89885-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町 3 丁目 10 番地

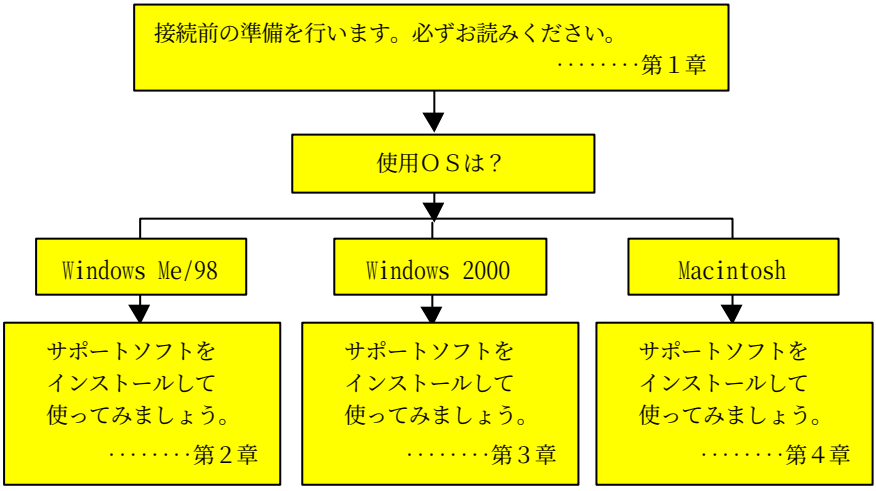
© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

はじめに

このたびは、USB 接続のコンパクトフラッシュ／スマートメディア両用ドライブ「USB-DFRWA」**(以下、「本製品」と表記します。)** をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本書の見方

以下のフローに沿って、必要な個所をお読みください。



本書での呼び方

呼び方	意　味
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System および Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional
Windows Me/98	Windows Me および Windows 98 の総称
Windows 2000/Me/98	Windows 2000,Windows Me および Windows 98 の総称

もくじ

はじめに・・・・・・・・・・・・・ i
もくじ・・・・・・・・・・・・・・ ii
本製品のご紹介 v

1 ご使用になる前に

必ずお読みください

箱を開けたら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
ユーザー登録をしよう ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
対応している機種とＯＳ ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

2 Windows Me/98 で使うには

インストール編

サポートソフトのインストール ・・・・・・・・・・・・・・ 9
パソコンへ接続する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２
インストール終了後の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・ １４

使用編

基本的な使い方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １６
ディスクドライブとして使用するには ・・・・・・・・・・ １９
フォーマットするには ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２１

3 Windows 2000 で使うには

インストール編

サポートソフトのインストール ・・・・・・・・・・・・・ ２７
パソコンへ接続する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３１
インストール終了後の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・ ３３

使用編

基本的な使い方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３６
ディスクドライブとして使用するには ・・・・・・・・・・ ４２
フォーマットするには ・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４４

4 Macintosh で使うには

インストール編

インストールする前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４９
サポートソフトのインストール ・・・・・・・・・・・・・ ５３
パソコンへ接続する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５５

使用編

基本的な使い方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５７
デジタルカメラの画像を取り込むには ・・・・・・・・・・ ６２
ディスクドライブとして使用するには ・・・・・・・・・・ ６３
フォーマットするには ・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６５

5 付 録

「Photo Explorer 7.0 Lite」を使う ・・・・・・・・・・ ６８
困ったときには＜目次＞ ・・・・・・・・・・・・・・・ ７８
困ったときには ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８０
アンインストール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９１
ハードウェア仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９５
用語解説 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９６

サポートセンターへのお問い合わせ ・・・・・ ９７
サービス品に関するお問い合わせ ・・・・・・ ９８
サポートソフトのバージョンアップ ・・・・・ ９９
保証について ・・・・・・・・・・・・・・・ １００
修理について ・・・・・・・・・・・・・・・ １０１

本製品のご紹介

● コンパクトフラッシュとスマートメディアの２ドライブ搭載

現在、デジタルカメラの主流となっているメディア形式は２つあります。
本製品では両方に対応するため、２ドライブを搭載しました。これなら、デジタルカメラを買い換えたときに困ることもありません。

● USB接続だから、簡単接続・外部電源不要

USB対応で、パソコンを起動したまま抜き差しできるPnP、HotPlug対応。外部電源が不要なのでACアダプタの配線やコンセントが要りません。不要なときにはUSBコネクタを抜いておくこともでき、再接続時はUSBコネクタを差し込むだけです。

● ”小型・軽量”おしゃれなスケルトンタイプ

小型・軽量で、ノートパソコンと一緒に持ち運ぶときにもぴったりです。
外見はおしゃれなクリアグレーのスケルトン仕様です。

● Windows 2000/Me/98とMac OSの両対応

Windows 2000/Me/98とMac OS（8.5.1～9.1）に対応。どちらでも使えます。

● 画像管理ソフトを添付（Windows 2000/Me/98対応）

Ulead社の「Photo Explorer 7.0 Lite」を添付。増え続ける画像データを、多彩な機能と簡単な操作で管理できます。



「Photo Explorer 7.0 Lite」とは？

→デジタルカメラで撮影した画像ファイルはもちろんのこと、様々なマルチメディアファイル（グラフィック、ビデオ、サウンドファイルなど）の内容をビジュアル化して簡単に検索・管理できる便利なソフトウェアです。

「Photo Explorer 7.0 Lite」では、Windows エクスプローラのように、ツリー構造でフォルダを表示し、フォルダ選択と同時にファイルの内容（イメージ）を表示します。ファイルの内容を視覚的に確認しながら管理することができるので、ファイルを開いたり、削除したり、また移動やコピーをしたりするときに、ファイル名を覚えていなくても簡単に見つけることができます。ファイルを他のアプリケーションへ挿入したいときでも、ドラッグ&ドロップで簡単に実行できます。さらに、選択したイメージが並ぶWeb ページが簡単に作成できたり、スライドショーやカレンダー、スクリーンセーバ、壁紙などを作成することもできます。

→68 ページ【Photo Explorer 7.0 Lite」を使う】で、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法を説明しています。是非ご一読ください。

必ずお読みください

1 ご使用になる前に

この章では、本製品をご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。



P2　箱を開けたら

箱の中に入っているものを確認してください。



P3　ユーザー登録をしよう

ユーザー登録の方法を説明します。必ず、登録をお願いします。



P4　対応している機種とOS

対応機種や対応OSについて説明します。接続前に、ご使用のパソコンがこれらの条件を満たしているか、確認してください。

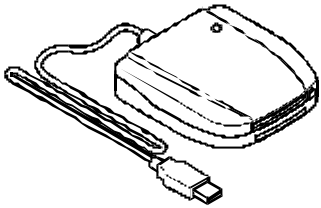


P6　注意事項

接続時や使用時の注意点を説明します。必ずお読みになり、安全で快適にご使用ください。

箱を開けたら

中身を確認してください

内容物	詳細	個数
USB 接続コンパクトフラッシュ＆スマートメディア対応ドライブ		1 個
サポートソフト	USB-DFRWA サポートソフト（CD-ROM） この CD-ROM には以下のものが含まれます。 ● USB-DFRWA Software Driver ● Ulead Photo Explorer 7.0 Lite （Windows 2000/Me/98 対応）	1 枚
その他	取扱説明書（本書）	1 冊
	ハードウェア保証書	1 枚
	ユーザー登録カード（弊社用）	1 枚
	ユーザー登録カード （ユーリードシステムズ㈱用）	1 枚
	ハードウェアシリアル No.シール	1 枚
	安全で快適にお使いいただくために	1 冊

万一、不足品がございましたら、弊社サポートセンター（97 ページ参照）までご連絡ください。



箱･梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

ユーザー登録をしよう

ユーザー登録の際、必要事項の記入もれや入力もれがあった場合はユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。
ここでは、本製品（①）と添付ソフト（②）の２種類のユーザー登録を行います。

① 弊社ユーザー登録

1 添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼ってください。

ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

2 ●オンライン登録する場合

http://www.iodata.co.jp/regist/

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。
上記のアドレスにある「オンラインユーザー登録」のフォームにて、ユーザー登録を行ってください。
オンライン登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

●ハガキで登録する場合

必要事項をご記入の上、弊社までご返送ください。

② ユーリードシステムズ㈱ユーザー登録

（「Ulead Photo Explorer 7.0 Lite」用）

「ユーザー登録カード」（ユーリードシステムズ㈱用）に、必要な事項をご記入の上、ユーリードシステムズ㈱まで必ずご返送ください。



・ユーリードシステムズ㈱へのお問い合わせ窓口は、98 ページ【サービス品に関するお問い合わせ】を参照してください。
・ユーリードシステムズ㈱では、ユーリードシステムズ㈱製品のバージョンアップサービスなどを行っていますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。

対応している機種とＯＳ

本製品を使用できるパソコンおよび環境は以下の通りです。お使いの機種や環境を再度ご確認ください。

■Windows マシン■

対応機種	● NEC PC98-NX シリーズ ● DOS/V マシン※ （弊社では、OADG 加盟の DOS/V マシンで動作確認を行っています。）
対応 OS （日本語版）	Windows 2000 Windows Me Windows 98（Second Edition 含む）
CD-ROM ドライブ	インストール時に必要
USB ポート	本製品接続時に１つ必要（A タイプ）

※本製品は、以下の機種には対応しておりません。

デルコンピュータ株式会社　DELL OptiPlex GX115
DELL OptiPlex GX150
DELL OptiPlex G1
DELL DIMENSION 8100



・USB ハブを経由して本製品を接続する場合は、USB ハブにAC アダプタを付けて、電源を供給してください。また、ご利用の環境によっては、USB ハブに接続できない場合があります。その場合はパソコン本体のUSB ポートに接続する必要があります。
・パソコンのサスペンド・スタンバイ・スリープモード機能は使用しないでください。

■Macintosh シリーズ■

対応機種	iMac、iMac DV（+、SE 含む）、iBook（SE 含む）、Power Macintosh G3（Blue&White）、Power Mac G4/G4 Cube、PowerBook G3
対応 OS	Mac OS 8.5.1/8.6/9/9.0.4/9.1
CD-ROM ドライブ	インストール時に必要
USB ポート	本製品接続時に１つ必要（A タイプ）

・USB ハブを経由して本製品を接続する場合は、USB ハブにAC アダプタを付けて、電源を供給してください。また、ご利用の環境によっては、USB ハブに接続できない場合があります。その場合はパソコン本体のUSB ポートに接続する必要があります。
・iMac のボンダイブルー（M6709J/A, M6709J/B）をお使いになる場合は、Mac OS 8.5.1 以降へのバージョンアップ、および「Mac Firmware Update 1.0」、「iMac Update1.1」が必要です。詳しくは49 ページ【インストールする前に】を参照してください。
・Mac OS 8.5.1 の場合には、「Mac Firmware Update 1.0」、「iMac Update1.1」が必要な機種があります。詳しくは49 ページ【インストールする前に】を参照してください。
・Mac OS のスリープ機能は使用しないでください。

■対応メディア（Windows マシン、Macintosh シリーズ共通）■

コンパクトフラッシュ	5V で動作可能な、CFA 準拠のメディア
スマートメディア	3.3V：4/8/16/32/64/128M バイトメディア
マイクロドライブ	弊社製および IBM 社製のもの

・スマートメディアのID 機能は使用できません。ご使用の場合、ID 機能は無効となります。
・128M バイトを超えるスマートメディアについては、SSFDC フォーラムの規格に準拠したものをサポートします。
・5V 仕様のスマートメディアはサポートしておりません。

注意事項

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては、本製品に同梱されている小冊子「安全で快適にお使いいただくために」を必ずお読みください。ここでは、その小冊子の記載以外の注意点について説明します。

⚠ 注意

本製品を接続中は、以下の注意事項をお守りください。
使用者が**けが**をしたり**物的損害**を受けることがあります。

- **パワー&アクセスランプの点滅または消灯中は絶対にカードを抜かない。**

  カードに記録されている内容が消えたり、カードが損傷する原因となります。

- **パワー&アクセスランプの点滅または消灯中は絶対にUSBケーブルを抜かない。**

  本製品が故障したり、カードに記録されている内容が消えたり、カードが損傷する原因となります。

その他の留意事項

- 本製品はサスペンド・スタンバイ・スリープなどのモードには対応しておりません。
  本製品を接続中にそれらのモードになった場合は、復帰後に本製品のUSBコネクタをいったん抜いてから接続し直してください。
- ご利用の環境によってはUSBハブに接続できない場合があります。
  その場合はパソコン本体のUSBポートに接続する必要があります。
- 本製品をUSBハブに接続する場合、USBハブの電源は必ずACアダプタを接続し、コンセントから電源を供給してください。
- デフラグ、スピードディスクなどのディスク最適化ツールはなるべく使わないでください。メディアの書き込み可能回数が著しく低下します。
- メディア内のデータは万一に備えて定期的にバックアップを取ることをおすすめします。
- スマートメディアのライトプロテクトシールは貼らずにご使用ください。

2 Windows Me/98 で使うには

この章では、本製品を Windows Me/98 で使用する場合のインストールから使用方法までを説明します。

インストール編（必須）

本製品を Windows Me/98 で使用するときは、必ず行ってください。



P9　サポートソフトのインストール

サポートソフトのインストールを説明します。



P12　パソコンへ接続する

本製品をパソコンへ接続します。



P14　インストール終了後の確認

正しくインストールできたかどうかの確認を行います。

使用編

メディアの出し入れ方法や注意事項、メディアをパソコンで使用するときのフォーマット方法などを説明します。



P16　基本的な使い方

本製品の取り外し、メディアの出し入れ、およびその際の注意事項などを説明します。必ずお読みください。

P19　ディスクドライブとして使用するには

本製品はリムーバブルディスクドライブとして使用することができます。その場合の使い方を説明します。

P21　フォーマットをするには

通常、メディア購入時はフォーマットされた状態なので、そのまま使えます。
ただし、特にフォーマットが必要な場合、このページを参照してフォーマットを行ってください。

参照

添付ソフト『Photo Explorer 7.0 Lite』を使って、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法を、68 ページ【Photo Explorer 7.0 Lite」を使う】で説明しています。是非ご一読ください。

《インストール編》
サポートソフトのインストール

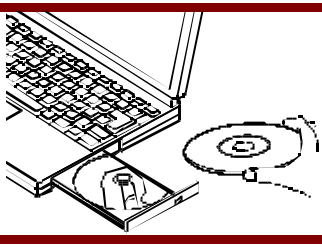
ここで説明するインストール作業は、最初に１度だけ行います。
次回からは、本製品のUSB コネクタをパソコンのUSB ポートに差し込むだけで使用できます。

注意

以下の作業は、USB ポートに本製品を接続する前に行ってください。

1 パソコンの電源を入れ、Windows Me/98 を起動します。

2 「USB-DFRWA サポートソフト」をCD-ROMドライブにセットします。



3 しばらくすると以下の画面が表示されますので、[Install Software Driver]をクリックします。

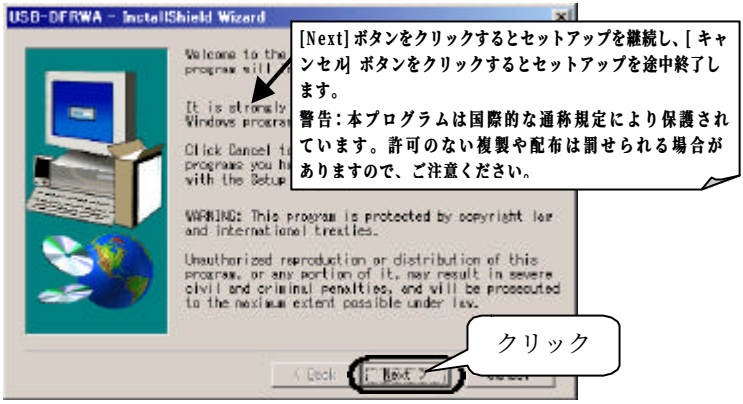


参照

この画面が表示されない場合は
→80 ページを参照してください。

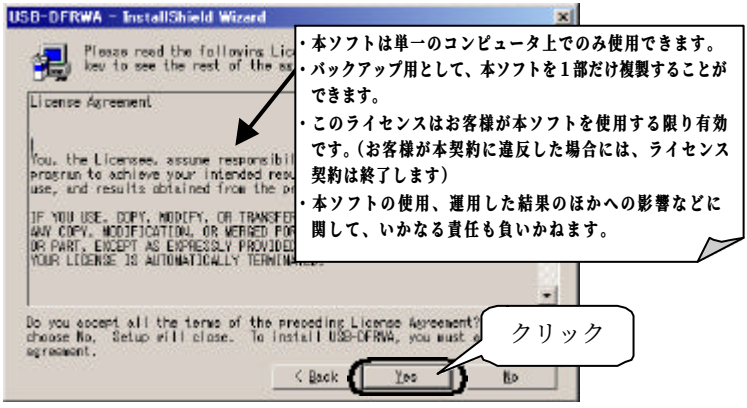
4 [Next]ボタンをクリックします。

これからセットアップを開始します。すべてのWindowsプログラムを終了してください。



5 [Yes]ボタンをクリックします。

表示されたライセンス契約をお読みになり、すべての条項に同意する場合は[Yes]ボタンをクリックします。[No]ボタンをクリックするとインストールは中止されます。（本製品をインストールするには、この契約に同意いただく必要があります。）



6 [Next]ボタンをクリックします。

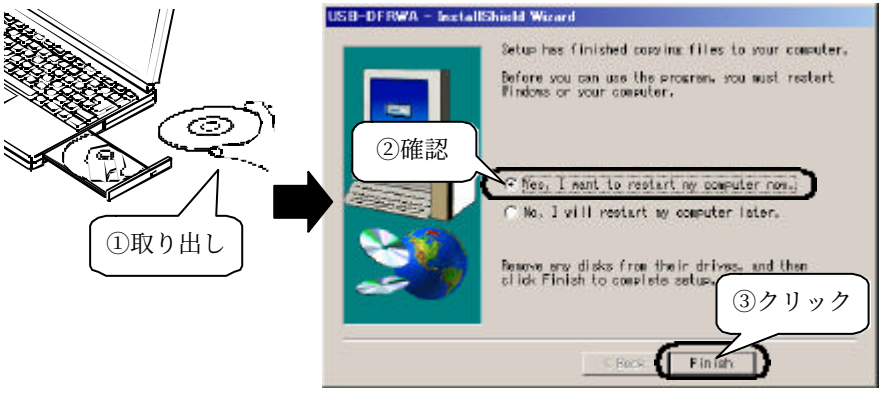
ファイルのコピーを開始するための情報が表示されます。[Next]ボタンをクリックして、ファイルのコピーを開始します。



7 以下の画面が表示されたらファイルのコピーは終了です。「USB-DFRWA サポートソフト」を CD-ROM ドライブから取り出し、[Yes,……]にチェックが付いていることを確認して※、[Finish]ボタンをクリックします。

パソコンが再起動します。

※[No,…]をチェックした場合は、パソコン再起動後に本製品をパソコンへ接続することができます。

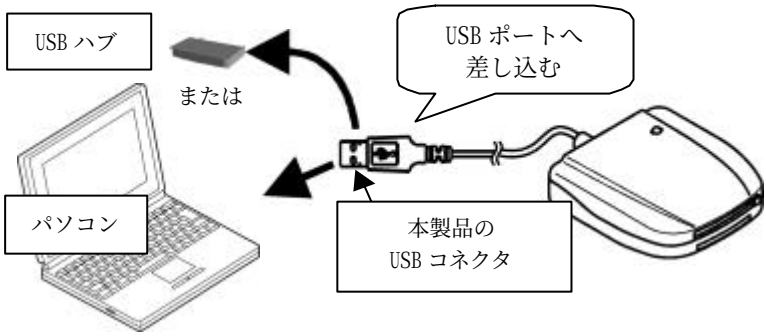


これでインストールは終了です。次は、本製品をパソコンに接続します。
次ページ【パソコンへ接続する】へお進みください。

《インストール編》
パソコンへ接続する

1 パソコン（またはUSBハブ）のUSBポートに、本製品のUSBケーブルのUSBコネクタを差し込みます。

USBコネクタの抜き差しは、パソコンの電源が入っている状態でも入っていない状態でも可能です。



注意

・USBコネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。
・パソコン（またはUSBハブ）のUSBポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。
・USBハブに接続する場合、必ずUSBハブにACアダプタを付けて電源を供給してください。また、ご利用の環境によっては、USBハブに接続できない場合があります。その場合はパソコン本体のUSBポートに接続してください。

2 USBコネクタを最後まできちんと差し込むと、本製品の「パワー&アクセスランプ」が点灯するので、確認してください。



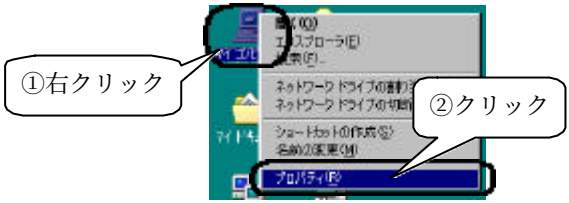


本製品をパソコンへ接続後、[新しいハードウェアの追加ウィザード] 画面が表示された場合は
→80 ページを参照してください。

次はサポートソフトが正常にインストールされていることを確認します。
次ページ【インストール終了後の確認】へお進みください。

《インストール編》
インストール終了後の確認

1 [マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、表示された[プロパティ]をクリックします。

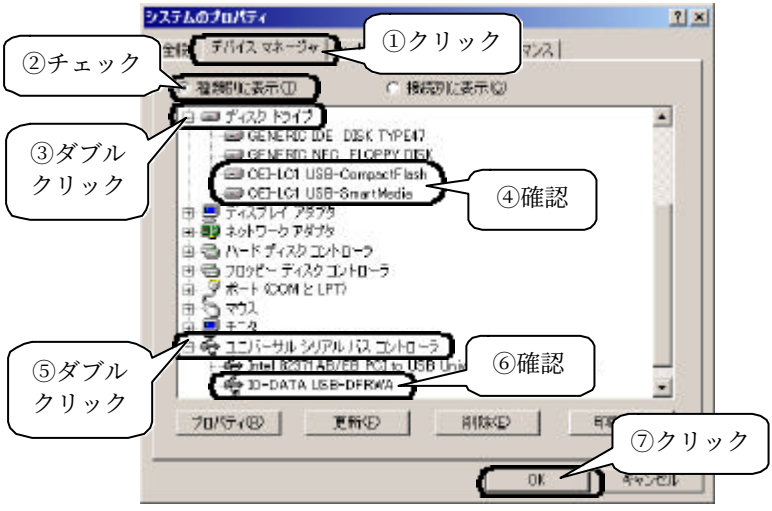


2 [デバイスマネージャ]タブをクリックして、[種類別に表示]で以下が表示されていることを確認します。

・[ディスクドライブ]をダブルクリックして、
[OEI-LC1 USB-CompactFlash]と[OEI-LC1 USB-SmartMedia]を確認します。

・[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]をダブルクリックして、
[IO-DATA USB-DFRWA]を確認します。

確認後、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じます。



本製品の接続中に「パワー&アクセスランプ」が点滅または消灯している時は、[デバイスマネージャ]の[更新]ボタンをクリックしないでください。

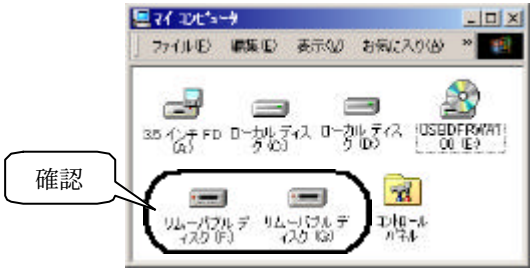
参照

[OEI-LC1 USB-CompactFlash]、[OEI-LC1 USB-SmartMedia]、[IO-DATA USB-DFRWA]が表示されていない、または、先頭に「!」や「×」マークが付いている場合は
→81 ページを参照してください。

3 [マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。

4 「リムーバブルディスク」が2つ追加されていることを確認します。

割り当てられるドライブ名はお使いの環境によって異なります。
先に表示されている方がコンパクトフラッシュのドライブ（下記例ではFドライブ）で、後に表示されている方（下記例ではGドライブ）がスマートメディアのドライブになります。



（上記の画面は、本製品がF,Gドライブに割り当てられた場合の例）

参照

どのリムーバブルディスクが本製品なのかが判別できない場合は
→82 ページを参照してください。

これで、本製品がパソコンに正しく認識され、リムーバブルディスクとして使用できることが確認できました。

1度これらのインストールを行えば、今後は本製品のUSB コネクタを差し込むだけで使えるようになります。本製品を使わないときは、メディア取り出しを確認後、本製品を取り外しておけば、USB コネクタを有効に使用できます。

次ページ【使用編】をよくお読みの上、ご使用ください。

《使用編》
基本的な使い方

本製品を使うとき

USB コネクタをパソコンの USB ポートに差し込んでください。
（差し込み方は 12 ページ参照）

メディアの出し入れ

メディアの出し入れ方法については、下記ページを参照してください。
・コンパクトフラッシュ、マイクロドライブの場合：次ページ
・スマートメディアの場合：18 ページ

本製品を使わないとき

メディアが入っていないことを確認してから、USB コネクタを抜いてください。USB コネクタの抜き差しは、パソコンの電源が入っている状態でも入っていない状態でも可能です。



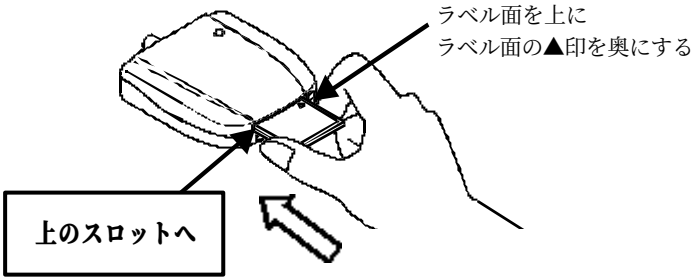
・本製品の接続中に「パワー&アクセスランプ」が点滅または消灯している時は、メディアにアクセスしていますので、絶対にメディアは抜かないでください。
・パソコンのサスペンド・スタンバイ・スリープモード機能は使用しないでください。

コンパクトフラッシュ、マイクロドライブの出し入れ

※メディアの出し入れは、本製品を手で押さえて行ってください。

■メディアを入れる■

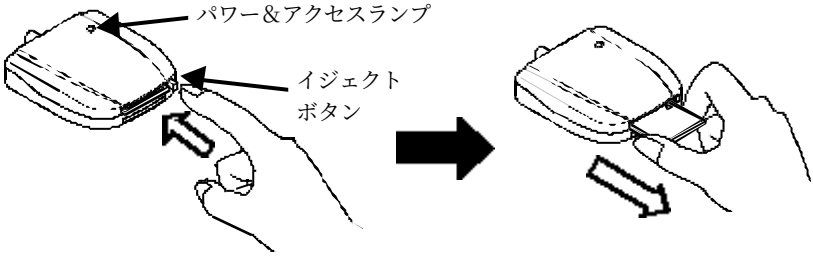
上のスロットに入れます。メディアのラベル面を上にし、▲印の方を奥にし、挿入口に対して水平にして、手で最後まで押し込んでください。



■メディアを出す■

①本製品の接続中に「パワー＆アクセスランプ」が点滅または消灯していないこと※を確認します。
（※16 ページ「注意」もお読みください。）

②「イジェクトボタン」を押すとメディアが少し飛び出しますので、抜いてください。

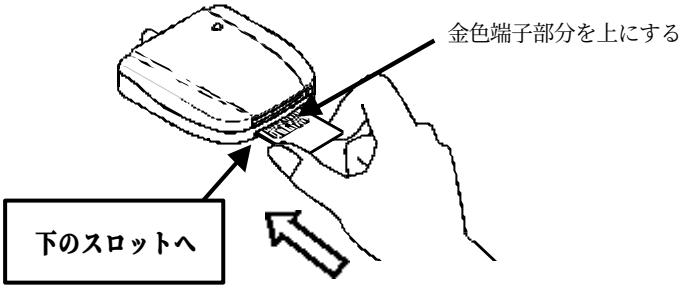


スマートメディアの出し入れ

※メディアの出し入れは、本製品を手で押さえて行ってください。

■メディアを入れる■

下のスロットに入れます。メディアの金色端子面を上にし、挿入口に対し水平にして、手で最後まで押し込んでください。

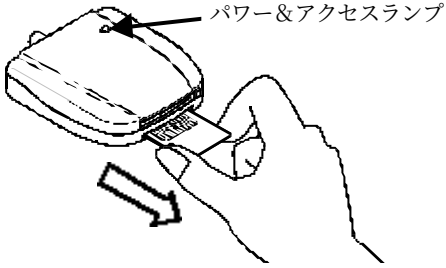


■メディアを出す■

①本製品の接続中に「パワー＆アクセスランプ」が点滅または消灯していないこと※を確認します。

（※16 ページ「注意」もお読みください。）

②手でメディアを抜いてください。



《使用編》
ディスクドライブとして使用するには

デジタルカメラの画像データの他、ワープロ等で作った書類データ等を他の場所に持っていきたいとき、メディアに入れて持ち運んでも OK。フロッピーディスクよりはるかに容量が大きくメディアサイズも小さいので、安心です。
データをメディアにコピー(移動)するときは、下記の手順で行います。

ファイルをコピー（移動）する

通常、メディアはフォーマットされた状態で発売されていますので、すぐにファイルをコピーすることができます。方法はハードディスクなどの場合と全く同じです。特にフォーマットが必要な場合は、コピーする前に、21 ページ【フォーマットするには】を参照して、フォーマットを行ってください。

1 本製品にメディアを挿入します。

メディアの入れ方は、17～18 ページを参照してください。

2 デスクトップ上で、コピー（移動）元のファイルを指定します。

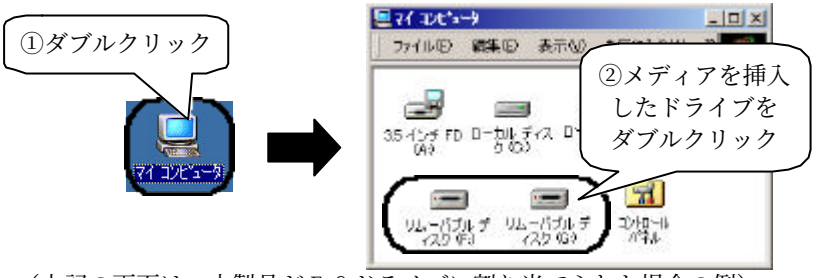
①コピー（移動）元のファイルが保存されているドライブアイコン（またはフォルダアイコン）をダブルクリックします。
②コピー（移動）元のファイルを右クリックします。
③表示された[コピー]（または[切り取り]）をクリックします。



（上記の画面は、[マイドキュメント]フォルダ内にあるファイルを指定した例）

3 [マイコンピュータ]アイコン→[リムーバブルディスク]アイコン（メディアを入れた方）を順にダブルクリックします。

先に表示されている方がコンパクトフラッシュのドライブ（下記例ではEドライブ）で、後に表示されている方（下記例ではFドライブ）がスマートメディアのドライブになります。



（上記の画面は、本製品がF,Gドライブに割り当てられた場合の例）

参照

「デバイスの準備ができていません」などと表示された場合は
→87 ページを参照してください。

4 [編集]メニューから[貼り付け]をクリックします。

選択したファイルがコピー（移動）され、指定したリムーバブルディスクに表示されます。



ファイルの削除、フォルダの新規作成など、マイコンピュータ上での操作は、ハードディスクなどの場合と同じように行うことができます。

注意

Windows 上で作成したデータはMac OS でも読み込むことはできますが、Mac OS 上で作成したデータはWindows では読み込むことはできませんので、ご注意ください。

《使用編》
フォーマットするには

デジタルカメラで使う場合は、カメラ側でメディアをフォーマットしてください。方法はデジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

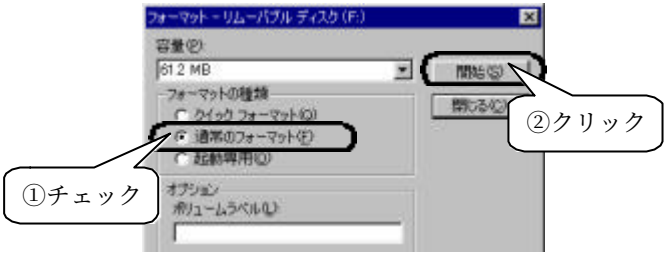
メディアをパソコンだけで使う場合で、特にフォーマットが必要となる場合は、以下に示す手順でフォーマットを行ってください。ただし、このフォーマットを行うとデジタルカメラでは使用できない場合もありますので、その場合は、再度デジタルカメラ側でフォーマットが必要になります。

フォーマットを行った場合、メディアに保存されている内容はすべて消去されます。必要ならば、バックアップを取ってからフォーマットしてください。
また、フォーマット操作を間違えると、別のハードディスクなどのデータを消去してしまう可能性があるので、操作は慎重に行ってください。

1 **[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックして開きます。**
[リムーバブルディスク]アイコン（メディアを入れた方）を右クリックして、表示された[フォーマット]をクリックします。

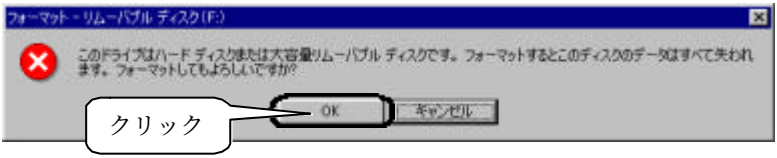


2 [通常のフォーマット]を選び、[開始]ボタンをクリックします。

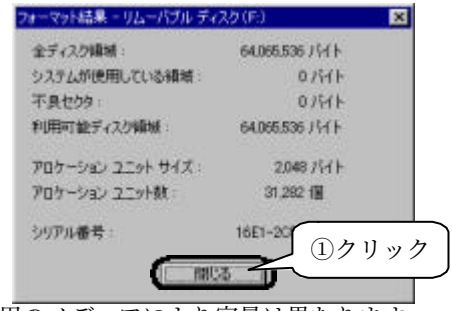


※ご使用のメディアにより容量は異なります。
（上記の画面は、64M バイトメディアの場合の例）

3 メディアを確認して、[OK]ボタンをクリックします。



4 フォーマット結果が表示されたら、[閉じる]ボタンをクリックします。下の画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



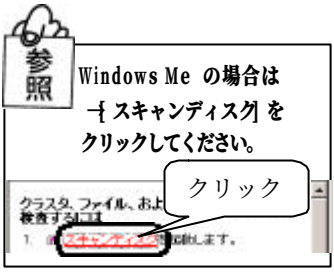
※ご使用のメディアにより容量は異なります。
（上記の画面は、64M バイトメディアの場合の例）



5 [Windows のヘルプ]画面が表示されますので、下線部をクリックしてスキャンディスクを実行します。



（上記の画面は、Windows 98 の例）



6 フォーマットしたドライブ名をクリックし、[完全]をチェック後、[開始]ボタンをクリックします。



7 スキャンディスクを実行後、結果が表示されたら[閉じる]ボタンをクリックします。

開いている画面をすべて閉じてください。

これでフォーマットは終了です。

注意

Windows 上でフォーマットしたメディアはMac OS でも読み込むことはできますが、Mac OS 上でフォーマットしたメディアはWindows では読み込むことはできませんので、ご注意ください。

MEMO

3 Windows 2000 で使うには

この章では、本製品を Windows 2000 で使用する場合のインストールから使用方法までを説明します。

インストール編（必須）

本製品を Windows 2000 で使用するときは、必ず行ってください。



P27　サポートソフトのインストール

サポートソフトのインストールを説明します。



P31　パソコンへ接続する

本製品をパソコンへ接続します。



P33　インストール終了後の確認

正しくインストールできたかどうかの確認を行います。

使用編

メディアの出し入れ方法や注意事項、メディアをパソコンで使用するときのフォーマット方法などを説明します。



P36　基本的な使い方

本製品の取り外し、メディアの出し入れ、およびその際の注意事項などを説明します。必ずお読みください。

P42　ディスクドライブとして使用するには

本製品はリムーバブルディスクドライブとして使用することができます。その場合の使い方を説明します。

P44　フォーマットをするには

通常、メディア購入時はフォーマットされた状態なので、そのまま使えます。
ただし、特にフォーマットが必要な場合、このページを参照してフォーマットを行ってください。

参照

添付ソフト『Photo Explorer 7.0 Lite」を使って、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法を、68 ページ【Photo Explorer 7.0 Lite」を使う】で説明しています。是非ご一読ください。

《インストール編》
サポートソフトのインストール

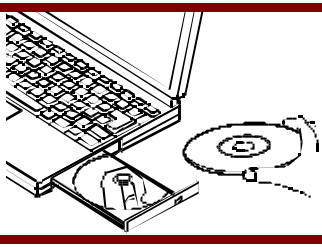
ここで説明するインストール作業は、最初に１度だけ行います。
次回からは、本製品のUSB コネクタをパソコンのUSB ポートに差し込むだけで使用できます。

注意

以下の作業は、USB ポートに本製品を接続する前に行ってください。

1 パソコンの電源を入れ、Windows 2000 を起動します。

2 「USB-DFRWA サポートソフト」をCD-ROM ドライブにセットします。



3 しばらくすると以下の画面が表示されますので、[Install Software Driver]をクリックします。

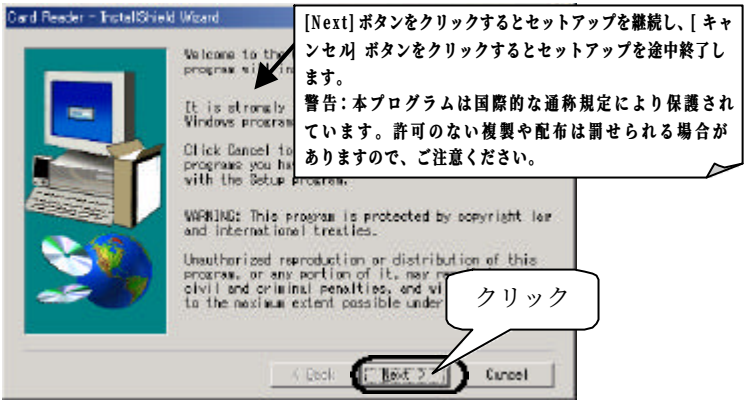


参照

この画面が表示されない場合は
→80 ページを参照してください。

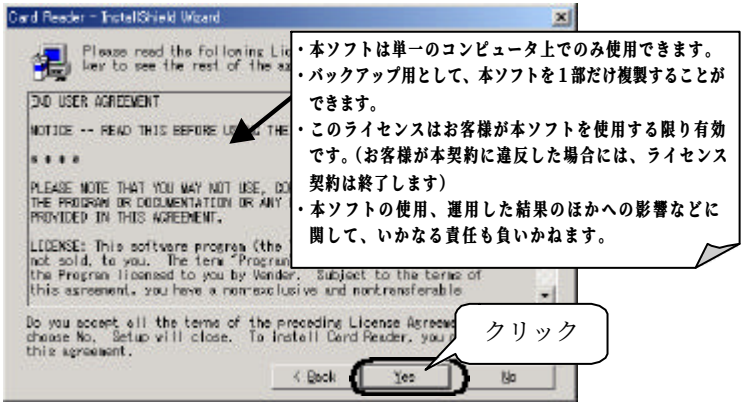
4 [Next]ボタンをクリックします。

これからセットアップを開始します。すべてのWindowsプログラムを終了してください。



5 [Yes]ボタンをクリックします。

表示されたライセンス契約をお読みになり、すべての条項に同意する場合は[Yes]ボタンをクリックします。[No]ボタンをクリックするとインストールは中止されます。（本製品をインストールするには、この契約に同意いただく必要があります。）



[Next]ボタンをクリックします。

ファイルのコピーを開始するための情報が表示されます。[Next]ボタンをクリックして、ファイルのコピーを開始します。



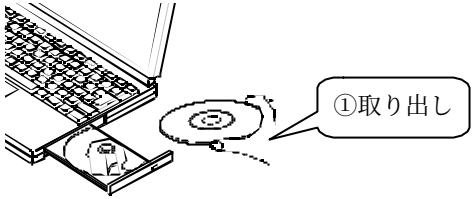
参照

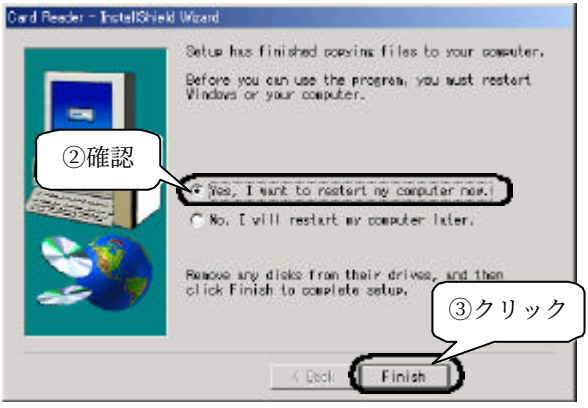
「デバイスをインストール中にエラーが発生しました。関数ドライバがこのデバイスインスタンスに指定されなかったため、インストールが失敗しました。」と表示された場合は→84 ページを参照してください。

7 以下の画面が表示されたらファイルのコピーは終了です。「USB-DFRWA サポートソフト」を CD-ROM ドライブから取り出し、[Yes,……]にチェックが付いていることを確認して※、[Finish]ボタンをクリックします。

パソコンが再起動します。

※[No,…]をチェックした場合は、パソコン再起動後に本製品をパソコンへ接続することができます。



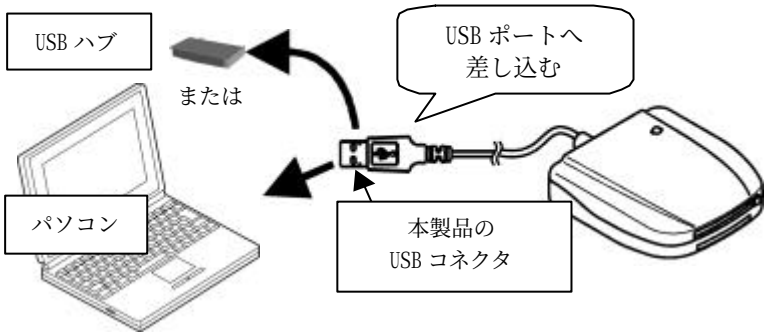


これでインストールは終了です。次は、本製品をパソコンに接続します。
次ページ【パソコンへ接続する】へお進みください。

《インストール編》
パソコンへ接続する

1 パソコン（またはUSBハブ）のUSBポートに、本製品のUSBケーブルのUSBコネクタを差し込みます。

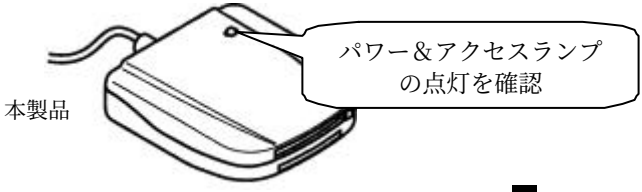
USBコネクタの抜き差しは、パソコンの電源が入っている状態でも入っていない状態でも可能です。



注意

・USBコネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。
・パソコン（またはUSBハブ）のUSBポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。
・USBハブに接続する場合、必ずUSBハブにACアダプタを付けて電源を供給してください。また、ご利用の環境によっては、USBハブに接続できない場合があります。その場合はパソコン本体のUSBポートに接続してください。

2 USBコネクタを最後まできちんと差し込むと、本製品の「パワー&アクセスランプ」が点灯するので、確認してください。





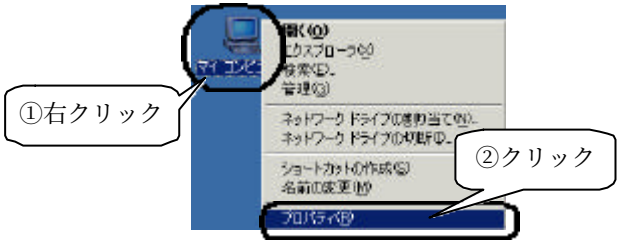
本製品をパソコンへ接続後、[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示された場合は
→80 ページを参照してください。

次はサポートソフトが正常にインストールされていることを確認します。
次ページ【インストール終了後の確認】へお進みください。

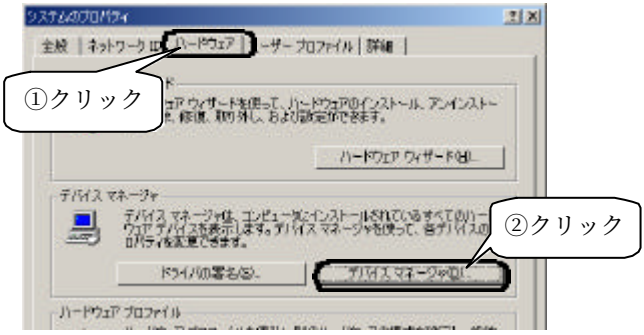
《インストール編》
インストール終了後の確認

インストールが終了したら、パソコンが本製品を正しく認識したかどうかの確認を行います。

1 [マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、表示された[プロパティ]をクリックします。



2 [ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

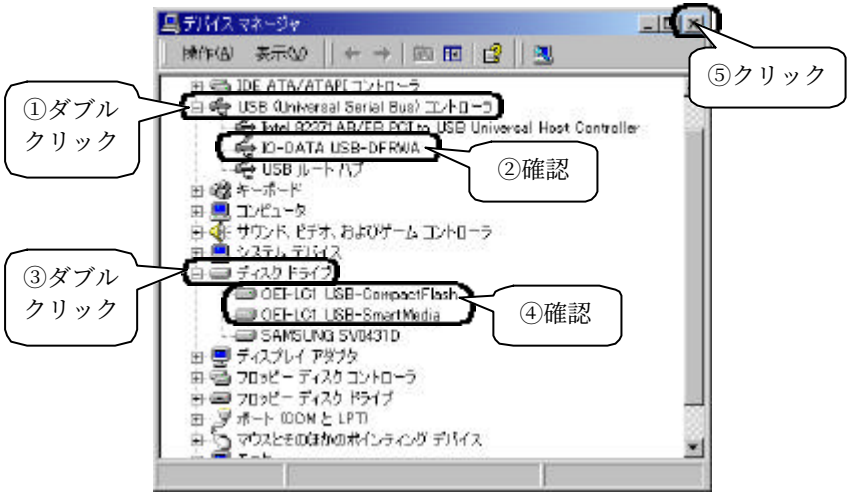


3 以下が表示されていることを確認します。

・[USB コントローラ]をダブルクリックして、
[IO-DATA USB-DFRWA]を確認します。

・[ディスクドライブ]をダブルクリックして、
[OEI-LC1 USB-CompactFlash]と[OEI-LC1 USB-SmartMedia]を確認します。

確認後、画面右上の ×ボタンをクリックして画面を閉じます。



参照

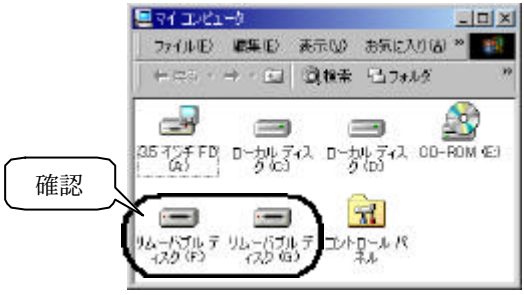
[OEI-LC1 USB-CompactFlash]、[OEI-LC1 USB-SmartMedia]、[IO-DATA USB-DFRWA] が表示されていない、または 先頭に「!」や「×」マークが付いている場合は
→81 ページを参照してください。

4 [マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。



5 [リムーバブルディスク]が2つ追加されていることを確認します。

割り当てられるドライブ名はお使いの環境によって異なります。
先に表示されている方がコンパクトフラッシュのドライブ（下記例ではFドライブ）で、後に表示されている方（下記例ではGドライブ）がスマートメディアのドライブになります。



（上記の画面は、本製品がF,Gドライブに割り当てられた場合の例）

参照 **どのリムーバブルディスクが本製品なのかが判別できない場合は →83 ページを参照してください。**

これで、本製品がパソコンに正しく認識され、リムーバブルディスクとして使用できることが確認できました。

1度これらのインストールを行えば、今後は本製品のUSB コネクタを差し込むだけで使えるようになります。本製品を使わないときは、メディア取り出しを確認後、本製品を取り外しておけば、USB コネクタを有効に使用できます。

次ページ【使用編】をよくお読みの上、ご使用ください。

《使用編》
基本的な使い方

本製品を使うとき

USB コネクタをパソコンの USB ポートに差し込んでください。
（差し込み方は 31 ページ参照）

メディアの出し入れ

メディアの出し入れ方法については、下記ページを参照してください。
・コンパクトフラッシュ、マイクロドライブの場合：次ページ
・スマートメディアの場合：38 ページ

本製品を使わないとき

メディアが入っていないことを確認してから、下記の要領で USB コネクタを抜いてください。
・パソコンの電源が入っていない状態：
　そのまま USB コネクタを抜いてください。
・パソコンの電源が入っている状態
　39 ページ【本製品を取り外す方法】を参照して、「終了手順」を行って USB コネクタを抜いてください。
　「終了手順」を行わずに本製品を抜くと、予期しない障害が発生する可能性があります。



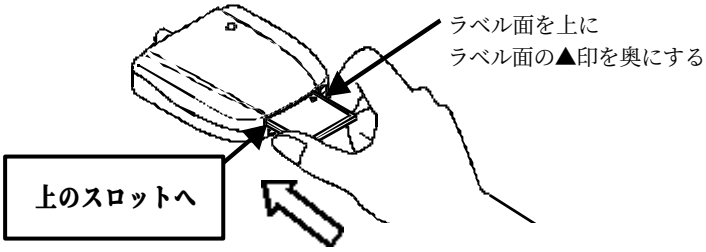
・本製品の接続中に「パワー&アクセスランプ」が点滅または消灯している時は、メディアにアクセスしていますので、絶対にメディアは抜かないでください。
・パソコンのサスペンド・スタンバイ・スリープモード機能は使用しないでください。

コンパクトフラッシュ、マイクロドライブの出し入れ

※メディアの出し入れは、本製品を手で押さえて行ってください。

■メディアを入れる■

上のスロットに入れます。メディアのラベル面を上にし、▲印の方を奥にし、挿入口に対して水平にして、手で最後まで押し込んでください。



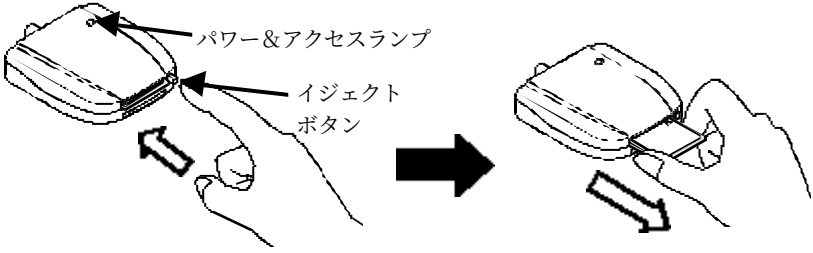
■メディアを出す■

①「パワー＆アクセスランプ」が約５秒間点灯状態であることを確認します。
（※36 ページ「注意」もお読みください。）
または、下記の手順に従い、メディアの取り出しを実行します。

- [マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。
- [リムーバブルディスク]アイコン（メディアを入れた方）を右クリックして、表示された[取り出し]をクリックします。



②「イジェクトボタン」を押すとメディアが少し飛び出しますので、抜いてください。

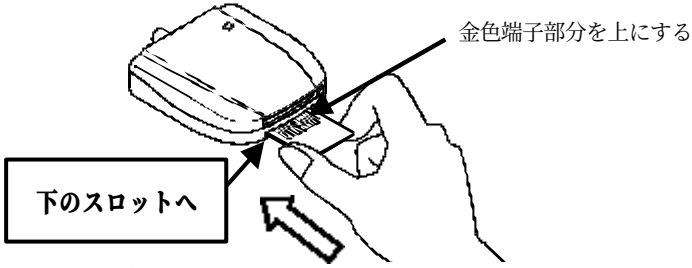


スマートメディアの出し入れ

※メディアの出し入れは、本製品を手で押さえて行ってください。

■メディアを入れる■

下のスロットに入れます。メディアの金色端子面を上にし、挿入口に対し水平にして、手で最後まで押し込んでください。



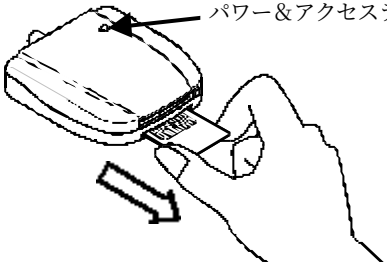
■メディアを出す■

①「パワー＆アクセスランプ」が約５秒間点灯状態であることを確認します。
（※36 ページ「注意」もお読みください。）
または、下記の手順に従い、メディアの取り出しを実行します。

・[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。
・[リムーバブルディスク]アイコン（メディアを入れた方）を右クリックして、表示された[取り出し]をクリックします。



②手でメディアを抜いてください。



本製品を取り外す方法

・パソコンの電源が入っていない状態：
　そのまま本製品の USB コネクタを抜いてください。
・パソコンの電源が入っている状態：
　以下の【終了手順－その１】または次ページ【終了手順－その２】を行って、本製品の USB コネクタを抜いてください。

注意

「終了手順」を行わずに本製品を取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。必ず「終了手順」を行って本製品を取り外してください。

■終了手順－その１■

1 **画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします。**



2 **表示された[……を停止します]をクリックします。**



（上記の画面は、リムーバブルディスクが F,G の場合の例）

3 **[OK]ボタンをクリックします。**

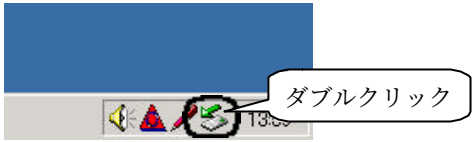


4 **本製品を取り外します。**

本製品の USB コネクタを抜きます。

■終了手順－その２■

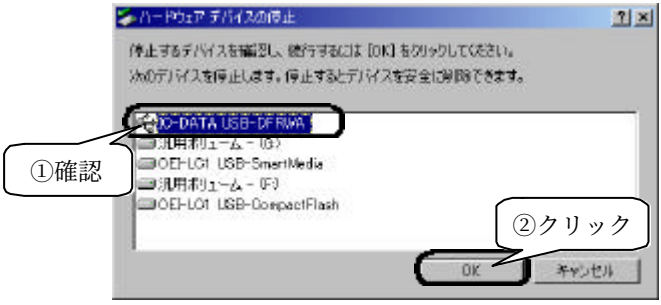
1 画面右下のタスクトレイのアイコンをダブルクリックします。



2 [IO-DATA USB-DFRWA]をクリックして、[停止]ボタンをクリックします。



3 [IO-DATA USB-DFRWA]を確認して、[OK]ボタンをクリックします。



4 [OK]ボタンをクリックします。



5 本製品を取り外します。

本製品の USB コネクタを抜きます。

6 前ページ手順 *2*の画面に戻りますので、[閉じる]ボタンをクリックして画面を閉じます。

《使用編》
ディスクドライブとして使用するには

デジタルカメラの画像データの他、ワープロ等で作った書類データ等を他の場所に持っていきたいとき、メディアに入れて持ち運んでも OK。フロッピーディスクよりはるかに容量が大きくメディアサイズも小さいので、安心です。
データをメディアにコピー(移動)するときは、下記の手順で行います。

ファイルをコピー（移動）する

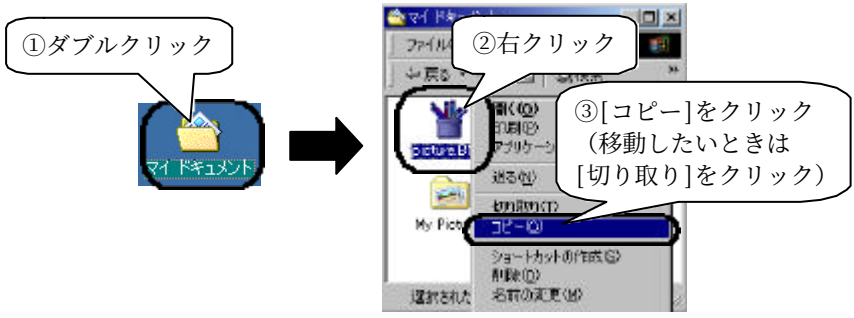
通常、メディアはフォーマットされた状態で発売されていますので、すぐにファイルをコピーすることができます。方法はハードディスクなどの場合と全く同じです。特にフォーマットが必要な場合は、コピーする前に、44 ページ【フォーマットするには】を参照して、フォーマットを行ってください。

1 本製品にメディアを挿入します。

メディアの入れ方は、37～38 ページを参照してください。

2 デスクトップ上で、コピー（移動）元のファイルを指定します。

①コピー（移動）元のファイルが保存されているドライブアイコン（またはフォルダアイコン）をダブルクリックします。
②コピー（移動）元のファイルを右クリックします。
③表示された[コピー]（または[切り取り]）をクリックします。



（上記の画面は、[マイドキュメント]フォルダ内にあるファイルを指定した例）

3 [マイコンピュータ]アイコン→[リムーバブルディスク]アイコン（メディアを入れた方）を順にダブルクリックします。

先に表示されている方がコンパクトフラッシュのドライブ（下記例ではFドライブ）で、後に表示されている方（下記例ではGドライブ）がスマートメディアのドライブになります。



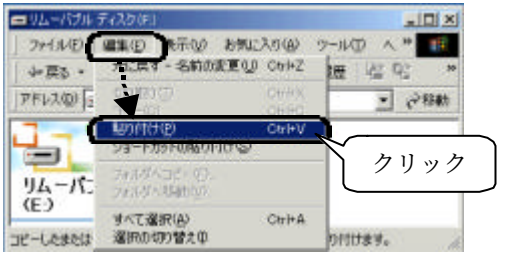
（上記の画面は、本製品がF,Gドライブに割り当てられた場合の例）

参照

「デバイスの準備ができていません」などと表示された場合は
→87 ページを参照してください。

4 [編集]メニューから[貼り付け]をクリックします。

選択したファイルがコピー（移動）され、指定したリムーバブルディスクに表示されます。



ファイルの削除、フォルダの新規作成など、マイコンピュータ上での操作は、ハードディスクなどの場合と同じように行うことができます。

注意

Windows 上で作成したデータはMac OS でも読み込むことはできますが、Mac OS 上で作成したデータはWindows では読み込むことはできませんので、ご注意ください。

《使用編》
フォーマットするには

デジタルカメラで使う場合は、カメラ側でメディアをフォーマットしてください。方法はデジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

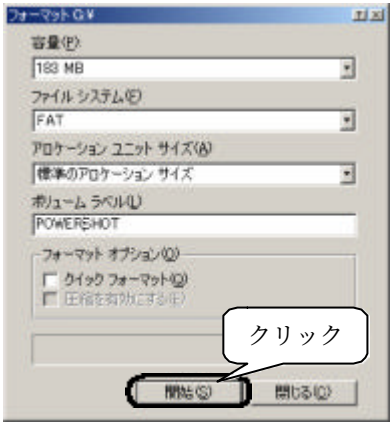
メディアをパソコンだけで使う場合で、特にフォーマットが必要となる場合は、下記に示す手順でフォーマットを行ってください。ただし、このフォーマットを行うとデジタルカメラでは使用できない場合もありますので、その場合は、再度デジタルカメラ側でのフォーマットが必要になります。

フォーマットを行った場合、メディアに保存されている内容はすべて消去されます。必要ならば、バックアップを取ってからフォーマットしてください。
また、フォーマット操作を間違えると、別のハードディスクなどのデータを消去してしまう可能性があるので、操作は慎重に行ってください。

[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。
[リムーバブルディスク]アイコン（メディアを入れた方）を右クリックして、表示された[フォーマット]をクリックします。



2 [開始]ボタンをクリックします。



※ご使用のメディアにより容量は異なります。
（上記の画面は、192M バイトメディアの場合の例）

3 メディアを確認して、[OK]ボタンをクリックします。



4 [OK]ボタンをクリックします。



これでフォーマットは終了です。

注意

Windows 上でフォーマットしたメディアはMac OS でも読み込むことはできますが、Mac OS 上でフォーマットしたメディアはWindows では読み込むことはできませんので、ご注意ください。

MEMO

4 Macintosh で使うには

この章では、本製品を Macintosh で使用する場合の、インストールから使用方法までを説明します。

インストール編（必須）

本製品を Macintosh で使用するときは、必ず行ってください。



P49　インストールする前に

インストールする前に、ご使用の Mac OS のバージョンなどを確認してください。バージョンによっては、インストールする前に Mac OS のバージョンアップや必要なソフトウェアのインストールを行う必要があります。



P53　サポートソフトのインストール

サポートソフトのインストールを説明します。



P55　パソコンへ接続する

本製品をパソコンに接続します。

使用編

メディアの出し入れ方法や注意事項、メディアをパソコンで使用するときのフォーマット方法などを説明しています。



P57　基本的な使い方

本製品の取り外し、メディアの出し入れ、およびその際の注意事項などを説明します。必ずお読みください。



P62　デジタルカメラの画像を取り込むには

デジタルカメラで使用したメディアを本製品に入れて、画像をパソコンに取り込む方法を簡単に説明します。



P63　ディスクドライブとして使用するには

本製品はリムーバブルディスクドライブとして使用することができます。その場合の使い方を説明します。



P65　フォーマットするには

メディア購入時はフォーマットされた状態なので、そのまま使えます。
ただし、特にフォーマットが必要な場合、このページを参照してフォーマットを行ってください。

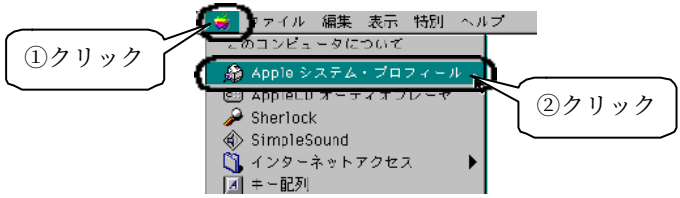
《インストール編》
インストールする前に

インストールを行う前に、下記手順にしたがってご使用の Mac OS のバージョンを確認してください。

バージョンの確認

1 [Apple システム・プロフィール] を選択します。

［Apple］メニューをクリックして、表示された［Apple システム・プロフィール］をクリックします。



2 Mac OS のバージョンを確認します。



参照

Mac OS のバージョンが8.5.1 未満の場合は
→Mac OS を8.5.1 ~9.1 にバージョンアップしてください。8.5.1 未満では本製品は使用できません。8.6 ~9.1 にバージョンアップした場合は、53 ページ【サポートソフトのインストール】へ進んでください。8.5.1 にバージョンアップした場合は、手順 **3** へ進んでください。

Mac OS のバージョンが8.5.1 の場合は
→手順 **3** へ進んでください。

Mac OS のバージョンが8.6 ~9.1 の場合は
→これ以上の作業は必要ありません。53 ページ【サポートソフトのインストール】へ進んでください。

3 【装置とボリューム】タブをクリックして、USB Manager のバージョンを確認後、画面左上の □ ボタンをクリックして画面を閉じます。



参照

表示されたバージョンが1.1 未満の場合は
→次ページ【USB Manager のアップデート】へ進んでください。

表示されたバージョンが1.1 以降の場合は
→これ以上の作業は必要ありません。53 ページ【サポートソフトのインストール】へ進んでください。

USB Manager のアップデート

本製品を使うためには、USB Manager のバージョンを 1.1 にアップデートする必要があります。以下の手順は参考例です。アップデートに関する詳細はアップルコンピュータ株式会社ホームページ（http://www.apple.co.jp/）をご覧になるか、アップルコンピュータ株式会社にお問い合わせください。

1 **「Mac Update 1.1」および「iMac Firmware Update」を入手します。**

アップルコンピュータ株式会社のホームページよりダウンロードするか、アップルコンピュータ株式会社にお問い合わせください。

2 **入手した「iMac Firmware Update-J.smi」アイコンをダブルクリックします。**



3 **同意書を確認し、［同意します］をクリックします。**

デスクトップ上に［iMac Firmware Update 1.0］アイコンが表示されます。

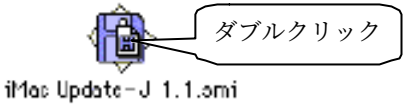


4 **［Mac Firmware Update 1.0］アイコンをダブルクリックします。**

5 **[iMac Firmware Update について]アイコンをダブルクリックします。**

6 **後は、「Mac Firmware Update について」の手順にしたがって処理を進めてください。**

7 入手した「iMac Update-J1.1.smi」をダブルクリックします。



8 同意書を確認し、『同意します』をクリックします。

デスクトップ上に［iMac Update］アイコンが表示されます。



9 『iMac Update』アイコンをダブルクリックします。

10 [iMac アップデート 1.1 について]アイコンをダブルクリックします。



11 後は、『iMac アップデート 1.1 について」の手順にしたがって処理を進めてください。

以上で、USB Manager はバージョン 1.1 にアップデートされました。
次ページ【サポートソフトのインストール】へ進んでください。

《インストール編》
サポートソフトのインストール

ここで説明するインストール作業は、最初に１度だけ行います。
次回からは、本製品のUSB コネクタをパソコンのUSB ポートに差し込むだけで使用できます。

注意

以下の作業は、USB ポートに本製品を接続する前に行ってください。

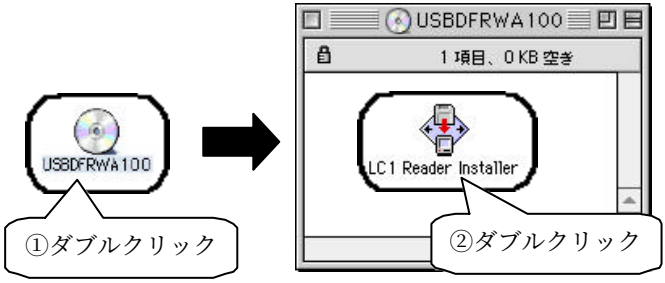
1 パソコンの電源を入れ、Macintosh を起動します。

2 「USB-DFRWA サポートソフト」を CD-ROM ドライブにセットします

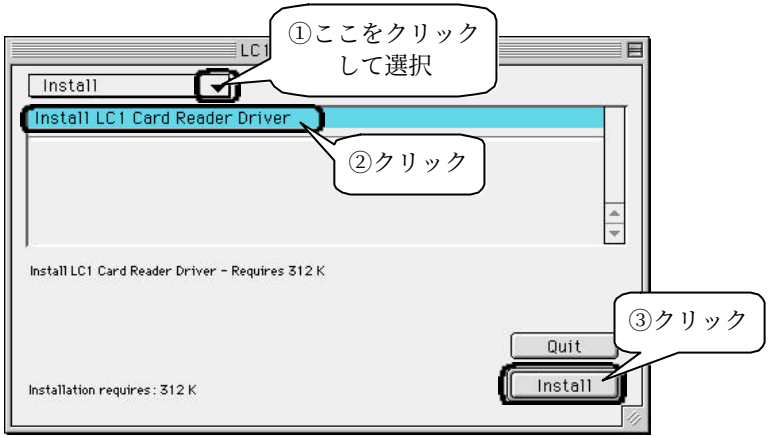


デスクトップ上に CD-ROM アイコンが表示されます。

3 CD-ROM アイコン→[LC1 Reader Installer]を順にダブルクリックします。



4 [Install]を選択し、[Install LC1 Card Reader Driver]をクリックして、[Install]ボタンをクリックします。



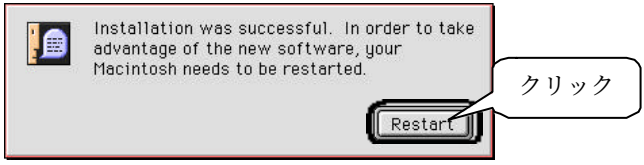
5 [Yes]ボタンをクリックします。

インストール後にパソコンを再起動します。[Yes]ボタンをクリックして、インストールを開始します。



6 [Restart]ボタンをクリックします。

インストールは終了しました。パソコンを再起動します。

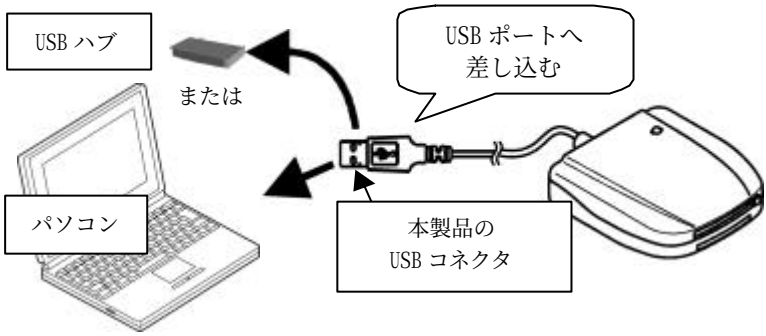


それでは、次に本製品を接続してみましょう。次ページへ進んでください。

《インストール編》
パソコンへ接続する

1 パソコン（またはUSBハブ）のUSBポートに、本製品のUSBケーブルのUSBコネクタを差し込みます。

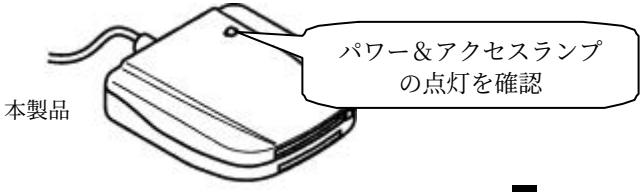
USBコネクタの抜き差しは、パソコンの電源が入っている状態でも入っていない状態でも可能です。



注意

・USBコネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。
・パソコン（またはUSBハブ）のUSBポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。
・USBハブに接続する場合、必ずUSBハブにACアダプタを付けて電源を供給してください。また、ご利用の環境によっては、USBハブに接続できない場合があります。その場合はパソコン本体のUSBポートに接続してください。

2 USBコネクタを最後まできちんと差し込むと、本製品の「パワー&アクセスランプ」が点灯するので、確認してください。



１度これらのインストールを行えば、今後は本製品のUSB コネクタを差し込むだけで使えるようになります。本製品を使わないときは、メディア取り出しを確認後、本製品を取り外しておけば、USB コネクタを有効に使用できます。

次ページ【使用編】をよくお読みの上、ご使用ください。

《使用編》
基本的な使い方

本製品を使うとき

USB コネクタをパソコンの USB ポートに差し込んでください。
（差し込み方は 55 ページ参照）

メディアの出し入れ

メディアの出し入れ方法については、下記ページを参照してください。
・コンパクトフラッシュ、マイクロドライブの場合：次ページ
・スマートメディアの場合：60 ページ

本製品を使わないとき

メディアが入っていないことを確認してから、USB コネクタを抜いてください。USB コネクタの抜き差しは、パソコンの電源が入っている状態でも入っていない状態でも可能です。



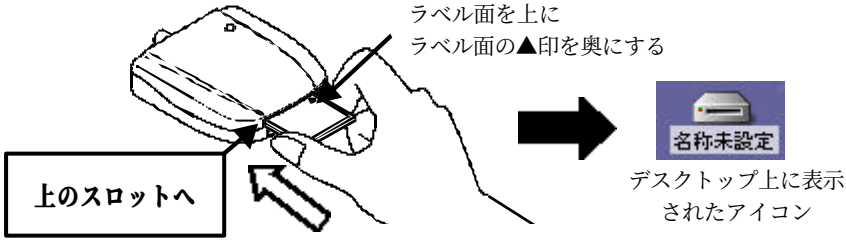
・本製品の接続中に「パワー&アクセスランプ」が点滅または消灯している時は、メディアにアクセスしていますので、絶対にメディアは抜かないでください。
・Mac OS のスリープ機能は使用しないでください。

コンパクトフラッシュ、マイクロドライブの出し入れ

※メディアの出し入れは、本製品を手で押さえて行ってください。

■メディアを入れる■

上のスロットに入れます。メディアのラベル面を上にし、▲印の方を奥にし、挿入口に対して水平にして、手で最後まで押し込んでください。
デスクトップにドライブアイコンが表示されます。（メディアのフォーマット状態によってドライブアイコンの名称が変わります）

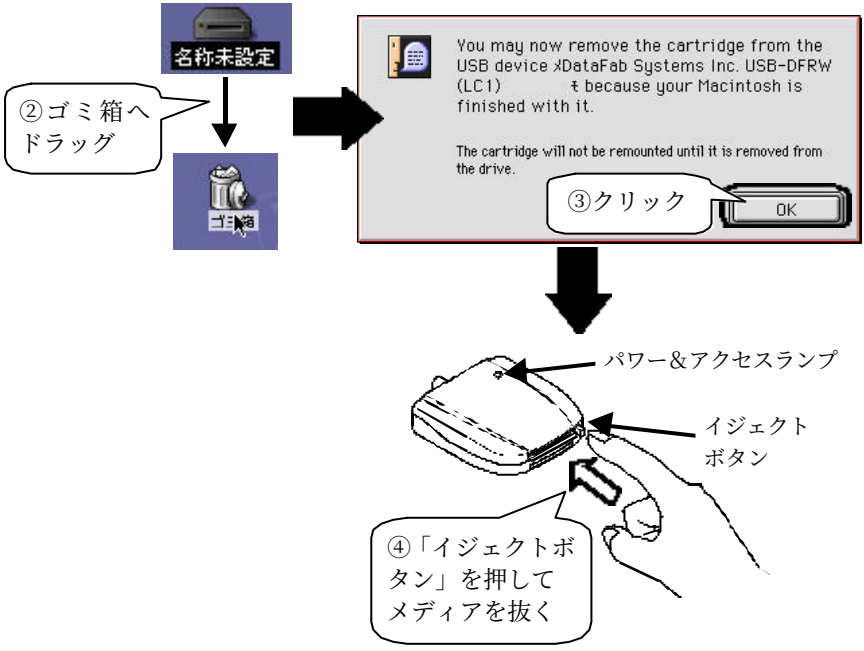


参照

デスクトップ上にアイコンが表示されない場合は
→90 ページを参照してください。

■メディアを出す■

①本製品の接続中に「パワー＆アクセスランプ」が点滅または消灯していないこと※を確認します。
（※57 ページ「注意」もお読みください。）
②ドライブアイコンをゴミ箱に捨てます。
③「メディアを取り出すことができます」旨のメッセージ画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。
④「イジェクトボタン」を押すとメディアが少し飛び出しますので、抜いてください。

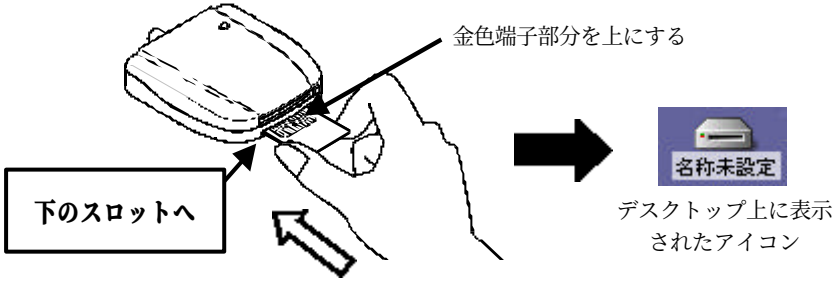


スマートメディアの場合

※メディアの出し入れは、本製品を手で押さえて行ってください。

■メディアを入れる■

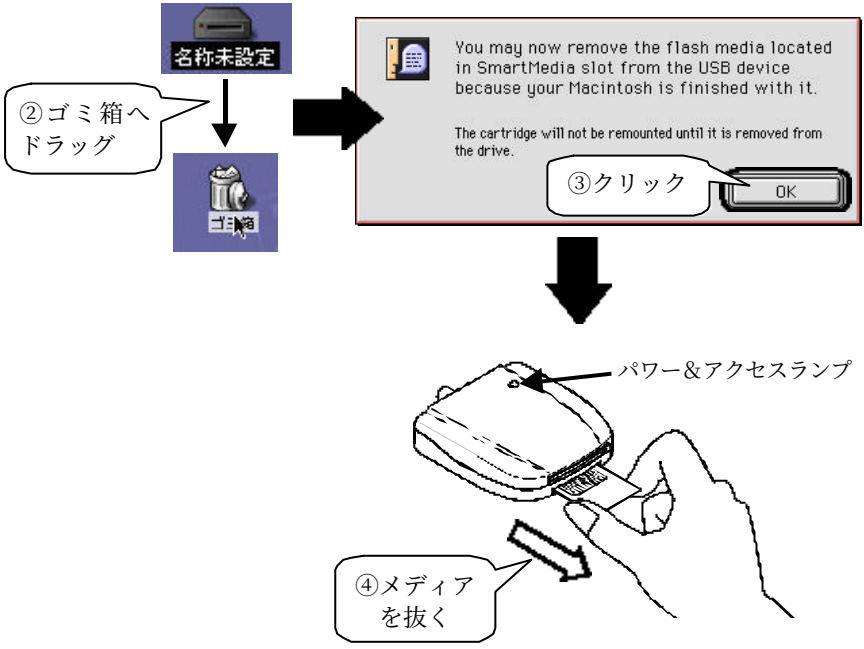
下のスロットに入れます。メディアの金色端子面を上にし、挿入口に対し水平にして、手で最後まで押し込んでください。
デスクトップにドライブアイコンが表示されます(メディアのフォーマット状態によってドライブアイコンの名称が変わります)。



参照
デスクトップ上にアイコンが表示されない場合は
→90 ページを参照してください。

■メディアを出す■

①本製品の接続中に「パワー＆アクセスランプ」が点滅または消灯していないこと※を確認します。
（※57 ページ「注意」もお読みください。）
②ドライブアイコンをゴミ箱に捨てます。
③「メディアを取り出すことができます」旨のメッセージ画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。
④手でメディアを抜いてください。



《使用編》
デジタルカメラの画像を取り込むには

本製品を使うと、デジタルカメラで撮影した画像を、カメラをパソコンに接続せずに高速に取り込むことができます。
手順は以下の通りです。

デジタルカメラから、メディアを取り出します。

取り出し方はお使いのデジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

↓

取り出したメディアを本製品に挿入します。

本製品の使い方、メディアの入れ方は、58 ページまたは 60 ページを参照してください。

↓

ドラッグ・アンド・ドロップで、画像を取り込みます。

デジタルカメラからの画像を取り込むには、ファイルをコピー（移動）する要領で簡単に行えます。

↓

取り込みが終わったら、本製品からメディアを取り出します。

メディアの取り出し方は、59 ページまたは 61 ページを参照してください。

《使用編》
ディスクドライブとして使用するには

デジタルカメラの画像データの他、ワープロ等で作った書類データ等を他の場所に持っていきたいとき、メディアに入れて持ち運んでも OK。フロッピーディスクよりはるかに容量が大きくメディアサイズも小さいので、安心です。
データをメディアにコピー(移動)するときは、下記の手順で行います。

ファイルをコピーする

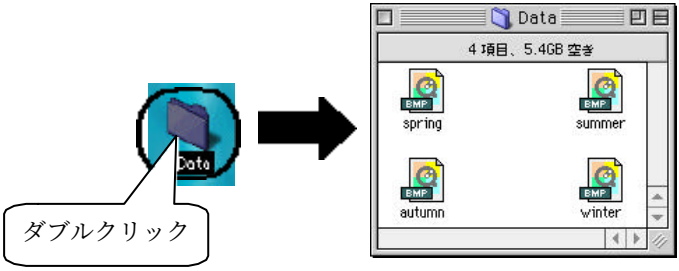
通常、メディアはフォーマットされた状態で発売されていますので、すぐにファイルをコピーすることができます。方法はハードディスクなどの場合と全く同じです。特にフォーマットが必要な場合は、コピーする前に、65 ページ【フォーマットするには】を参照して、フォーマットを行ってください。

1 本製品にメディアを挿入します。



デスクトップ上にドライブアイコンが表示されます。
※メディアのフォーマット状態によって、ドライブアイコンの名称が変わります。(上記の画面は、[名称未設定]アイコンの例)

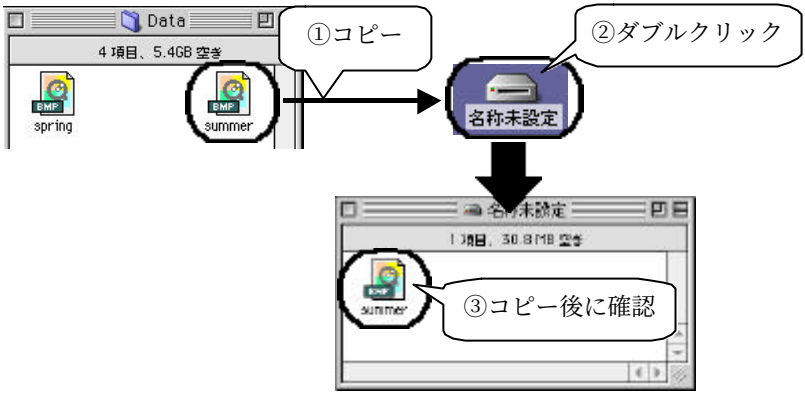
2 コピー元のファイルが保存されているフォルダアイコンを、ダブルクリックして開きます。



(上記の画面は、フォルダ名が「Data」の例)

3 デスクトップ上で、メディアを挿入したドライブアイコンにコピーします。

ドライブアイコンをダブルクリックして開き、コピーされているか確認します。



（上記の画面は、[名称未設定]アイコンにコピーした場合の例）

ファイルの削除、フォルダの新規作成など、デスクトップ上での操作は、ハードディスクなどの場合と同じように行うことができます。

注意

Windows 上で作成したデータはMac OS でも読み込むことはできますが、Mac OS 上で作成したデータはWindows では読み込むことはできませんので、ご注意ください。

《使用編》
フォーマットするには

デジタルカメラで使う場合は、カメラ側でメディアをフォーマットしてください。方法はデジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

メディアをパソコンだけで使う場合で、特にフォーマットが必要となる場合は、下記に示す手順でフォーマットを行ってください。ただし、このフォーマットを行うとデジタルカメラでは使用できない場合もありますので、その場合は、再度デジタルカメラ側でフォーマットが必要になります。

フォーマットを行った場合、メディアに保存されている内容はすべて消去されます。必要ならば、バックアップを取ってからフォーマットしてください。
また、フォーマット操作を間違えると、別のハードディスクなどのデータを消去してしまう可能性があるので、操作は慎重に行ってください。

1 フォーマットしたいドライブアイコンを選択して、[特別]メニューから[ディスクの初期化]をクリックします。

メディアを２枚入れているときは選択するアイコンを間違えないようにご注意ください。



（上記の画面は、フォーマットするドライブアイコン名が[名称未設定]の例）

2 メディアを確認して、[初期化]ボタンをクリックします。



3 画面が消えたら、フォーマット完了です。

これでフォーマットは終了です。

注意

Windows 上でフォーマットしたメディアはMac OS でも読み込むことはできますが、Mac OS 上でフォーマットしたメディアはWindows では読み込むことはできませんので、ご注意ください。

5 付　録

ここでは、以下のことを説明します。必要に応じてお読みください。

P68　「Photo Explorer 7.0 Lite」を使う

添付の画像管理ソフト「Photo Explorer 7.0 Lite」を使って、デジタルカメラの画像を取り込みます。

P78　困ったときには＜目次＞

うまく接続できない、思ったように動作しないときなどには、同じ現象がないかどうか、まず、ここを参照してください。

P80　困ったときには

ここには問題の現象とその対処方法が書かれています。問題の大半はすぐに解決できることです。是非、お試しください。

P91　アンインストール

本製品のサポートソフトのインストールをもう１度やり直すときは、インストールした情報を削除する（アンインストール）必要があります。

P95　ハードウェア仕様

本製品の基本仕様を説明します。

P96　用語解説

本製品に関する基本的な用語を簡単に説明します。

「Photo Explorer 7.0 Lite」を使う

本製品添付の画像管理ソフト「Photo Explorer 7.0 Lite」を使うと、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンのハードディスクなどへ簡単・高速に取り込むことができます。デジタルカメラをパソコンに接続する必要もありません。

・本製品に添付の「Photo Explorer 7.0 Lite」は Windows 2000/Me/98 対応です。Macintosh には対応していません。
・画像ファイルの形式によっては、「Photo Explorer 7.0 Lite」で扱えない場合があります。詳細は「Photo Explorer 7.0 Lite」のオンラインヘルプを参照してください。

本製品に添付されている「Photo Explorer 7.0 Lite」のユーザーサポートは、弊社ではなく、ユーリードシステムズ㈱が行います。ユーリードシステムズ㈱へのお問い合わせ窓口は、98 ページ【サービス品に関するお問い合わせ】を参照してください。

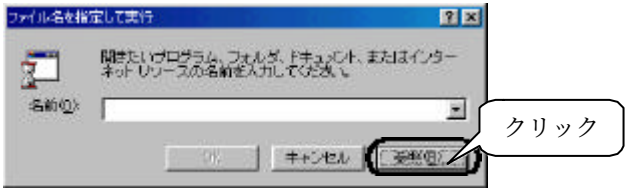
「Photo Explorer 7.0 Lite」をインストールする

ここでは Windows Me のインストール画面を使って説明しますが、お使いの OS が Windows 98、Windows 2000 も手順は同じです。

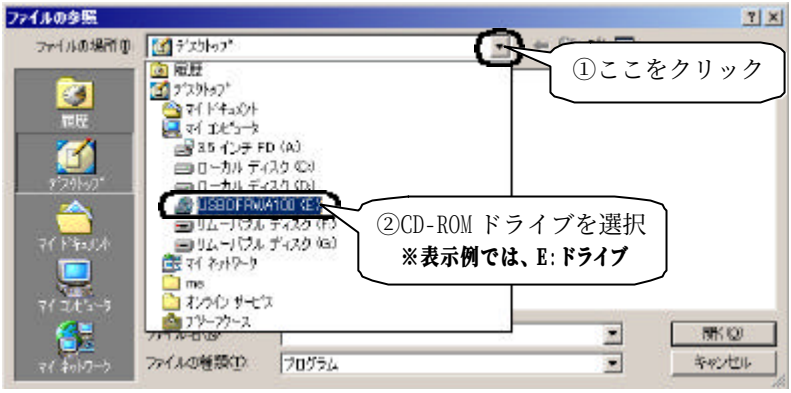
1 「USB-DFRWA サポートソフト」を CD-ROM ドライブにセットします。

[Master Setup]画面が表示される場合がありますが、画面右上の ✕ ボタンをクリックして画面を閉じます。

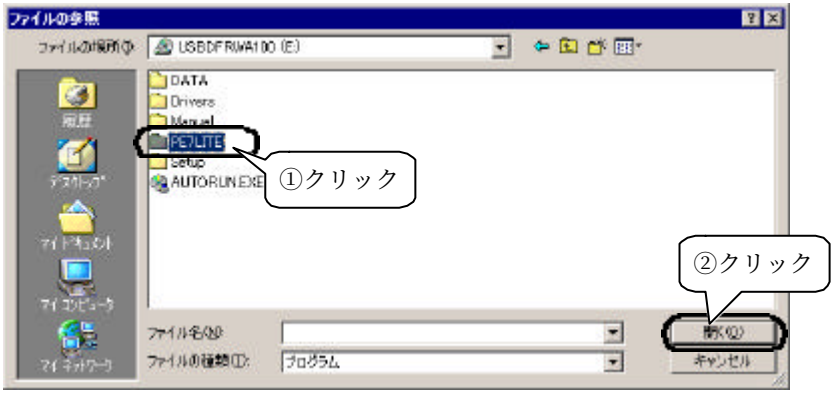
2 [スタート]→[ファイル名を指定して実行]を順にクリックして開き、[参照]ボタンをクリックします。



3 CD-ROMドライブを選択します。

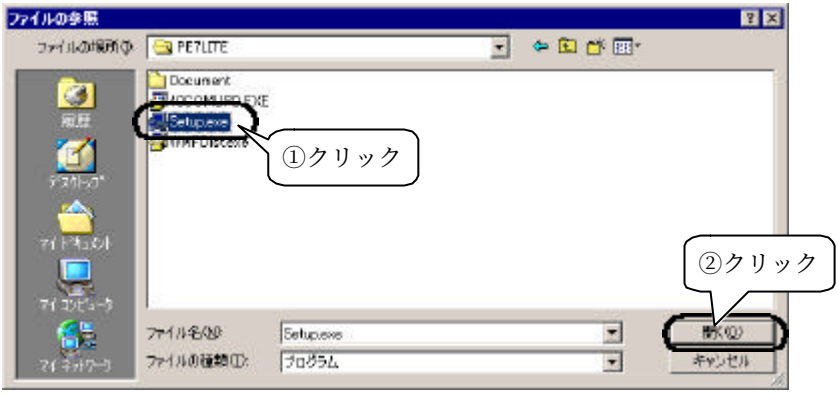


4 [PE7LITE]フォルダをクリックして、[開く]ボタンをクリックします。

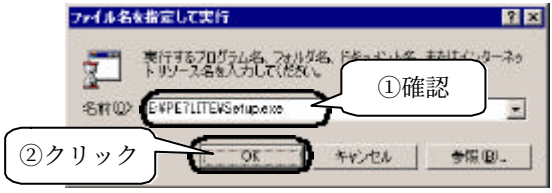


5 [Setup.exe]※をクリックして、[開く]ボタンをクリックします。

※お使いの環境によっては[Setup]と表示される場合があります。



6 以下のように表示されることを確認して、[OK]ボタンをクリックします。



（上記の画面は、CD-ROM ドライブが E ドライブの場合の例）

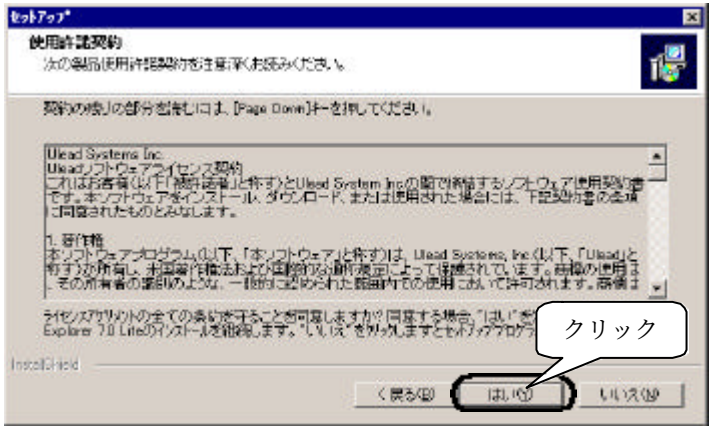
7 しばらくすると以下の画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。



8 [はい]ボタンをクリックします。

表示されたライセンス契約をお読みになり、すべての条項に同意する場合は[はい]ボタンをクリックします※。([いいえ]ボタンをクリックすると、インストールは中止されます。)

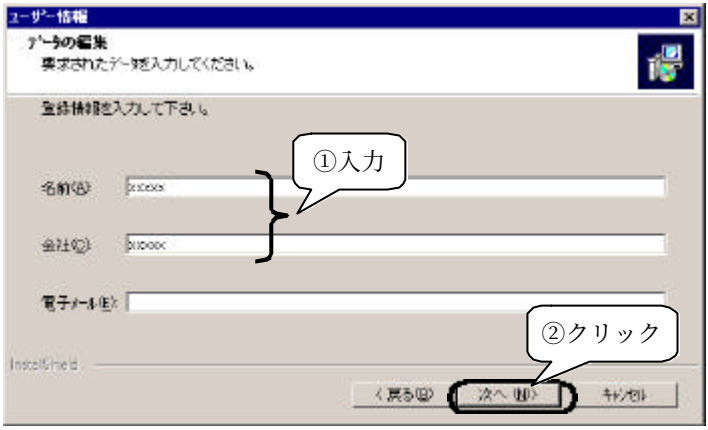
※本製品をインストールするには、この契約に同意いただく必要があります。



9 [名前][会社]※欄を入力して、[次へ]ボタンをクリックします。

[電子メール]欄は空白でもかまいません。

※[会社]欄に何も入力するものが無い場合は、「self」等の任意の文字列を入力してください。

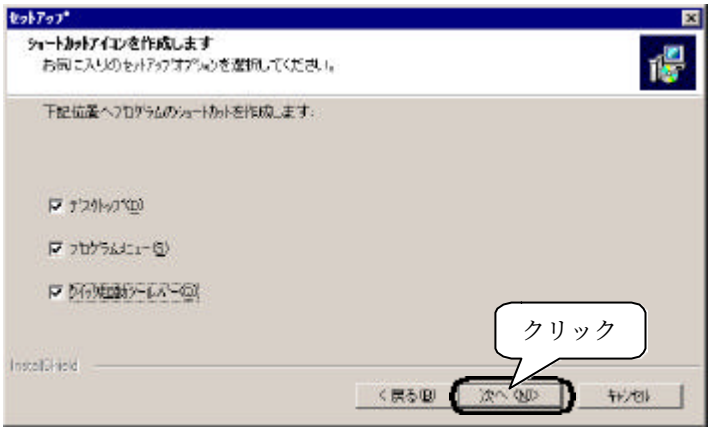


10 [次へ]ボタンをクリックします。

インストール先のフォルダを変更する場合は、[参照]ボタンをクリックして、任意のインストール先を指定します。

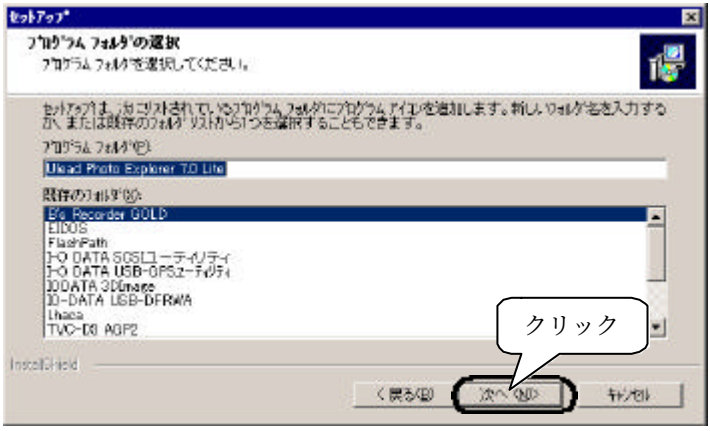


11 [次へ]ボタンをクリックします。

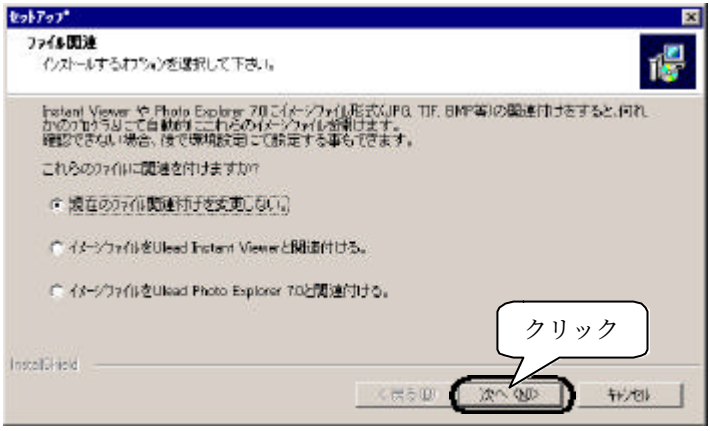


12 [次へ]ボタンをクリックします。

インストールを開始します。



13 [次へ]ボタンをクリックします。



14 [完了]ボタンをクリックします。



これで、インストールは終了です。
手順**14**で[Ulead Photo Explorer 7.0 Lite を起動します。]にチェックしていますので、画面を閉じると「Photo Explorer 7.0 Lite」が起動します。
次ページへお進みください。

デジタルカメラの画像を取り込むには

「Photo Explorer 7.0 Lite」を使ってデジタルカメラで撮影した画像をパソコンで表示し、必要な画像をハードディスクへ保管してみましょう。

1 デジタルカメラから撮影済みのメディアを取り出します。

取り出し方は、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

2 取り出したメディアを本製品のスロットに入れます。

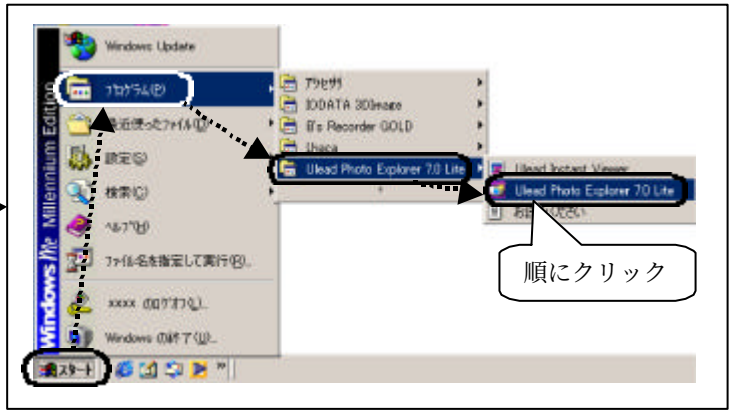
メディアの入れ方は、【基本的な使い方】（Windows Me/98 は 17～18 ページ、Windows 2000 は 37～38 ページ）を参照してください。

3 「Photo Explorer 7.0 Lite」を起動します。

デスクトップ上にある[Ulead Photo Explorer 7.0 Lite]アイコンをダブルクリックします。



※73 ページ手順 **11** で、[デスクトップ]のチェックを外した場合は、[スタート]→[プログラム]→[Ulead Photo Explorer 7.0 Lite]→[Ulead Photo Explorer 7.0 Lite]を順にクリックして起動します。



「Photo Explorer 7.0 Lite」の詳しい使い方については、オンラインマニュアルを参照してください。

4 セットしたメディア内の画像を表示します。

①画面左側の[フォルダツリー]で、[リムーバブルディスク]（メディアを入れた方）※1をダブルクリックします。

※1 先に表示されている方がコンパクトフラッシュ（下記例では[リムーバブルディスク (F:)]）、後に表示されている方がスマートメディア（下記例では[リムーバブルディスク (G:)]）のドライブになります。

②ダブルクリックして表示された画像の保存フォルダ※2をクリックします。

※2 使用するデジタルカメラにより、撮影された画像をメディアの中の特定フォルダに保存している場合があります。画像の保存フォルダの名称・場所等については、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

③画面右側の[ブラウズペイン]に、選択したフォルダに入っている画像が表示されます。



5 メディア内の画像をパソコンにコピーします。

①画面左側の[フォルダツリー]で、保管先のフォルダを表示します。
②前ページ手順 **4**の①②を実行後、画面右側の[ブラウズペイン]で、コピーしたい画像をクリックします。
（複数選択したい場合は、[Ctrl]キーを押しながらクリックします）
③[Ctrl]キーを押しながら※、画像を①で表示したフォルダへドラッグ＆ドロップします。
※ドラッグ＆ドロップ時に[Ctrl]キーを押さないと、移動になります。



（上記の画面は、[マイドキュメント]フォルダへコピーする場合の例）

6 画面右上の ×ボタンをクリックして、「Photo Explorer 7.0 Lite」を終了します。

[ファイル]メニューから[終了]をクリックして終了することもできます。

7 本製品からメディアを取り出します。

メディアの取り出し方は、【基本的な使い方】（Windows Me/98 は 17～18 ページ、Windows 2000 は 37～38 ページ）を参照してください。

「Photo Explorer 7.0 Lite」の詳しい使い方については、オンラインマニュアルを参照してください。

困ったときには＜目次＞

接続から動作確認まで（Windows 編）

状態	参照頁
本製品の USB コネクタがパソコンの USB ポートに入らない	80
サポートソフトをセットしても、インストール画面が表示されない	
本製品をパソコンに接続すると、[新しいハードウェアの追加（または検出）ウィザード]画面が表示された	
デバイスマネージャによる確認で、[OEI-LC1 USB-CompactFlash]、[OEI-LC1 USB-SmartMedia]、[IO-DATA USB-DFRWA]のいずれかが表示されない、または、先頭に「！」や「×」マークが付いている	81
どのリムーバブルディスクが本製品なのかが判別できない（Windows Me/98 の場合）	82
どのリムーバブルディスクが本製品なのかが判別できない（Windows 2000 の場合）	83
「デバイスをインストール中にエラーが発生しました。関数ドライバがこのデバイスインスタンスに指定されなかったため、インストールが失敗しました。」と表示され、インストールできない（Windows 2000 のみ）	84

使用時のトラブル（Windows 編）

状態	参照頁
[マイコンピュータ]で[リムーバブルディスク]アイコンが表示されない	86
[リムーバブルディスク]アイコンをダブルクリックすると「デバイスの準備ができていません」などと表示される	87
デジタルカメラの画像取り込みで、画像が取り込めない	
デジタルカメラでメディアに画像が保存できなくなった	88
リムーバブルディスクから動画ファイル（avi ファイル）を再生すると、音飛びすることがある	

接続から動作確認まで (Macintosh 編)

状態	参照頁
本製品の USB コネクタがパソコンの USB ポートに入らない	89
「必要なソフトウェアが見つかりません」と表示された	
「今より多くの電力が必要なので、操作できません」と表示された	

使用時のトラブル (Macintosh 編)

状態	参照頁
本製品にメディアをセットしても、デスクトップ上にアイコンが表示されない	90
本製品の接続タイミングやメディアの挿入状況によって、[Apple システム・プロフィール]―[装置とボリューム]でのデバイス表示が違う	

困ったときには

接続から動作確認まで（Windows編）

本製品のUSBコネクタがパソコンのUSBポートに入らない

原因 本製品のUSBコネクタの向きが正しくありません。

対処 コネクタの向きを変えてもう１度差し込んでください。向きが一致していれば、コネクタを差し込むのに力は必要ありません。

原因 パソコン（USBハブ）側のUSBポートが違います。

対処 パソコン（USBハブ）側のUSBポートの位置を取扱説明書などでご確認ください。

サポートソフトをセットしても、インストール画面が表示されない

対処 [マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、表示された画面内にあるCD-ROMアイコン[Usbdfrwa100]をダブルクリックしてみてください。
それでもインストール画面が表示されずにCD-ROMの中身が表示された場合は、表示された画面内にある[autorun]ファイル（お使いの環境によっては[autorun.exe]の場合もあります）をダブルクリックしてください。

本製品をパソコンに接続すると、[新しいハードウェアの追加（または検出）ウィザード]画面が表示された

原因 サポートソフトをインストールする前に、本製品のUSBコネクタをパソコンのUSBポートに差し込むと、この画面が表示されます。

対処 [キャンセル]ボタンをクリックして表示された画面を閉じます。「USB-DFRWAサポートソフト」をCD-ROMドライブにセット後、【サポートソフトのインストール】（Windows Me/98は9ページ、Windows 2000は27ページ）を参照してインストールを行ってください。

原因 本製品のUSBコネクタを、インストール時に差し込んだUSBポートと異なるUSBポートに差し込むと、再度新しいハードウェアとして認識される場合があります。

対処 [キャンセル]ボタンをクリックして表示された画面を閉じます。「USB-DFRWAサポートソフト」をCD-ROMドライブにセット後、【サポートソフトのインストール】（Windows Me/98は9ページ、Windows 2000は27ページ）を参照してインストールを行ってください。

デバイスマネージャによる確認で、[OEI-LC1 USB-CompactFlash]、[OEI-LC1 USB-SmartMedia]、[IO-DATA USB-DFRWA]のいずれかが表示されない、または、先頭に「!」や「×」マークが付いている

原因 パソコンの USB ポートに、本製品の USB コネクタがきちんとささっていません。

対処 パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささっていることを確認してください。

原因 正しくインストールされていません。

対処

《Windows Me/98 の場合》

①パソコン本体に本製品を接続した状態で、「!」または「×」マークが付いているドライバをクリックして、[削除]ボタンをクリックします。

②[OK]ボタンをクリックして画面を閉じます。

③本製品をパソコンから取り外します。

④「USB-DFRWA サポートソフト」を CD-ROM ドライブにセット後、9 ページ【サポートソフトのインストール】を参照してインストールをやり直してください。

《Windows 2000 の場合》

①パソコン本体に本製品を接続した状態で、「!」または「×」マークが付いているドライバを右クリックして、表示された[削除]をクリックします。

②画面右上の ✕ ボタンをクリックして画面を閉じます。

③本製品をパソコンから取り外します。

④[スタート]→[検索]→[ファイルやフォルダ]を順にクリックします。

⑤以下の条件を設定して、[検索開始]ボタンをクリックします。

[含まれる文字列] USB-DFRWA

[探す場所] C:\WINNT\INF

※Windows 2000 がインストールされているドライブが C:の場合

⑥[検索結果]欄に「oemX.inf」(X は数字) が検索された場合は、このファイルをダブルクリックして、「IO-DATA USB-DFRWA」の記述がないか確認します。

・記述がある場合、そのファイルを右クリックして表示された[削除]します。

・記述がない場合、手順⑦へお進みください。

(検索で何も見つからなかった場合は、そのまま終了してください。)

⑦画面右上の ✕ ボタンをクリックして画面を閉じます。

⑧「USB-DFRWA サポートソフト」を CD-ROM ドライブにセット後、27 ページ【サポートソフトのインストール】を参照してインストールをやり直してください。

原因 USB ハブに接続した場合に、USB ハブから供給される電源が不足しています。

対処 USB ハブに AC アダプタを接続し、電源を供給してください。それができないときは、パソコン本体の USB ポートに接続してください。

原因 デバイス認識されていません（USB ハブに接続した場合）。

対処 以下の方法を試してみてください。

- USB コネクタを抜いて、接続し直す。
- USB ハブの別のポートに接続してみる。

それでも同じ現象の場合は、USB ハブを使わず、パソコン本体の USB ポートに接続してください。

どのリムーバブルディスクが本製品なのかが判別できない（Windows Me/98 の場合）

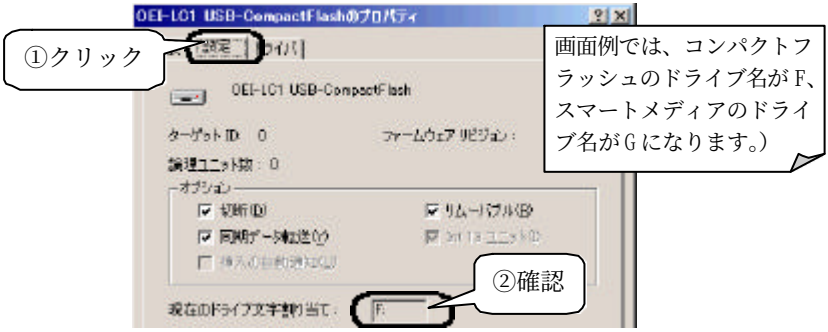
対処 本製品からメディアを取り出した後、以下の手順で確認してください。

1 [システムのプロパティ]画面を開きます。
（開き方は 14 ページを参照してください。）

2 [ディスクドライブ]をダブルクリックして、下に表示された[OEI-LC1 USB-CompactFlash]をダブルクリックします。



3 [設定]タブをクリックして、[現在のドライブ文字割り当て]欄を確認します。
ここに表示されているアルファベットが、本製品のコンパクトフラッシュのドライブ名になります。スマートメディアのドライブ名はこのドライブ名の次のアルファベットになります。



4 確認できたら、[OK]ボタンや[閉じる]ボタンをクリックして、画面を閉じます。

どのリムーバブルディスクが本製品なのかが判別できない（Windows 2000 の場合）

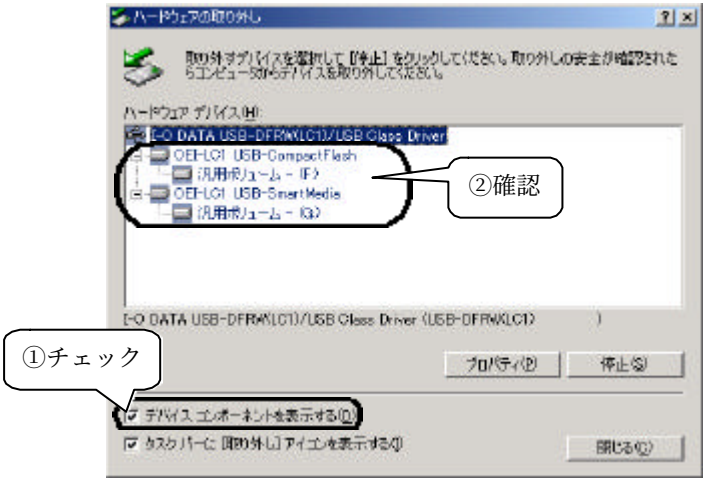
対処　本製品にメディアを差し込んだまま、以下の手順で確認してください。

1 画面右下のタスクトレイのアイコンをダブルクリックします。



2 [デバイスコンポーネントを表示する]をチェックして、[ハードウェアデバイス]欄でドライブ名を確認します。

（下記の例では、コンパクトフラッシュのドライブ名がF、スマートメディアのドライブ名がG になります。）



3 確認できたら、[閉じる]ボタンをクリックして、画面を閉じます。

「デバイスをインストール中にエラーが発生しました。関数ドライバがこのデバイスインスタンスに指定されなかったため、インストールが失敗しました。」と表示され、インストールできない(Windows 2000 のみ)

原因 以前に誤って Windows Me または 98 用のドライバでインストールをして、それ以降は Windows 2000 用のドライバでインストールすると、このエラーが発生します。

対処1 以下の手順で Windows 2000 用のドライバをインストールし直します。

1. 33 ページ【インストール終了後の確認】の手順 **1**, **2** を行います。
2. [USB コントローラ]をダブルクリックして、下に表示される[IO-DATA USB-DFRWA]をダブルクリックします。
3. [IO-DATA USB-DFRWA のプロパティ]画面が表示されますので、[ドライバ]タブをクリックして、[ドライバの更新]ボタンをクリックします。
4. [デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始]画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。
5. [ハードウェアデバイスドライバのインストール]画面が表示されますので、[このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する。]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。
6. [デバイスドライバの選択]画面が表示されますので、[ディスク使用]ボタンをクリックします。
7. 「USB-DFRWA サポートソフト」を CD-ROM ドライブにセットします。
8. [フロッピーディスクからのインストール]画面が表示されますので、[製造元のファイルのコピー元]欄に「x:\WIN2000」(x には CD-ROM ドライブを入力します)
   [OK]ボタンをクリックします。

   以上で、Windows 2000 用のドライバがインストールされます。

対処2 上記「対処 1」でも改善しない場合は、以下の手順もお試しください。

1. [スタート]→[検索]→[ファイルやフォルダ]を順にクリックします。
2. [ツール]メニューから[フォルダオプション]をクリックして、[表示]タブをクリックします。

3 [詳細設定]欄で、[ファイルとフォルダの表示]の下の[すべてのファイルとフォルダを表示する]にチェックします。

4 [OK]ボタンをクリックして、画面を閉じます。

5 [含まれる文字列]欄に、「USB-DFRWA」と半角入力します。

6 [探す場所]欄で をクリックして[参照...]をクリックします。

7 [フォルダの参照]画面が表示されますので、[マイコンピュータ]をダブルクリックし、Windows 2000 がインストールされているドライブをダブルクリックします。

8 [WINNT]フォルダをダブルクリックし、[INF]フォルダをクリックして、[OK]ボタンをクリックします。

9 [探す場所]欄に「x:\WINNT\INF」(x はWindows 2000がインストールされているドライブ名）が表示されていることを確認し、[検索開始]ボタンをクリックします。

10 [検索結果]欄に「oemX.inf」(X は数字）が検索された場合は、このファイルをダブルクリックして、「IO-DATA USB-DFRWA」の記述がないか確認します。

・記述がある場合、このファイルを選択して、[ファイル]メニュー →[削除]をクリックして削除します。

・記述がない場合、手順**11** へお進みください。

11 画面右上の  ボタンをクリックして、画面を閉じます。

12 33 ページ【インストール終了後の確認】の手順**1**, **2**を行います。

13 [USB コントローラ]をダブルクリックして、下に表示される[IO-DATA USB-DFRWA]を右クリックして、[削除]をクリックします。

14 [スタート]→[再起動]をクリックして、Windows 2000 を再起動します。

15 27 ページ【サポートソフトのインストール】を参照して、もう１度インストールを行ってください。

使用時のトラブル（Windows 編）

マイコンピュータでリムーバブルディスクアイコンが表示されない

原因
本製品が接続されていません、または接続が正しくありません。

対処
本製品のUSBコネクタを取り外した状態では、[マイコンピュータ]アイコンに[リムーバブルディスク]アイコンは表示されません。接続を確認してください。

原因
正しくインストールされていません。

対処
【インストール終了後の確認】（Windows Me/98は14ページ、Windows 2000は33ページ）を行ってください。[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]（Windows 2000の場合は[USBコントローラ]）をダブルクリックして下に表示される[IO-DATA USB-DFRWA]の前に「！」または「×」マークが付いている場合は、以下の手順を行います。

《Windows Me/98の場合》

①パソコン本体に本製品を接続した状態で、「！」または「×」マークが付いているドライバをクリックして、[削除]ボタンをクリックします。
②[OK]ボタンをクリックして画面を閉じます。
③本製品をパソコンから取り外します。
④「USB-DFRWAサポートソフト」をCD-ROMドライブにセット後、9ページ【サポートソフトのインストール】を参照してインストールをやり直してください。

《Windows 2000の場合》

①パソコン本体に本製品を接続した状態で、「！」または「×」マークが付いているドライバを右クリックして、表示された[削除]をクリックします。
②画面右上の ✕ ボタンをクリックして画面を閉じます。
③本製品をパソコンから取り外します。
④[スタート]→[検索]→[ファイルやフォルダ]を順にクリックします。
⑤以下の条件を設定して、[検索開始]ボタンをクリックします。
　[含まれる文字列]　USB-DFRWA
　[探す場所]　　C:\WINNT\INF
　※Windows 2000がインストールされているドライブがC:の場合
⑥[検索結果]欄に「oemX.inf」（Xは数字）が検索された場合は、このファイルをダブルクリックして、「IO-DATA USB-DFRWA」の記述がないか確認します。
　・記述がある場合、そのファイルを右クリックして表示された[削除]します。
　・記述がない場合、手順⑦へお進みください。
　（検索で何も見つからなかった場合は、そのまま終了してください。）
⑦画面右上の ✕ ボタンをクリックして画面を閉じます。
⑧「USB-DFRWAサポートソフト」をCD-ROMドライブにセット後、27ページ【サポートソフトのインストール】を参照してインストールをやり直してください。

原因 デバイス認識されていません（USB ハブに接続した場合）。

対処 以下の方法を試してみてください。

- いったん、USB コネクタを抜いて、接続し直す。
- USB ハブの別のポートに接続してみる。

それでも同じ現象の場合は、USB ハブを使わず、パソコン本体の USB ポートに接続してください。

[リムーバブルディスク]アイコンをダブルクリックすると、「デバイスの準備ができていません」などと表示される

原因 メディアがセットされていません、または向きを間違えてセットしています。

対処 メディアが正しくセットされていることを確認してください。
メディアの出し入れ方法は【基本的な使い方】（Windows Me/98 は 17～18 ページ、Windows 2000 は 37～38 ページ）を参照してください。

原因 メディアがセットされていないドライブをダブルクリックしています。

対処 本製品にはコンパクトフラッシュ用とスマートメディア用の２つのリムーバブルドライブがあります。
コンパクトフラッシュを挿入した場合は、アルファベット順で先のドライブ名を、スマートメディアを挿入した場合は後のドライブ名をダブルクリックしてください。

原因 メディアがフォーマットされていません。

対処 メディアをデジタルカメラなどで使用する場合は、デジタルカメラ側でフォーマットしてください。フォーマット方法はデジタルカメラの取扱説明書を参照してください（デジタルカメラでフォーマットしてもパソコン側でアクセスできます）。パソコンのみでご使用の場合は、【フォーマットするには】（Windows Me/98 は 21 ページ、Windows 2000 は 44 ページ）を参照してフォーマットしてください。

デジタルカメラの画像取り込みで、画像が取り込めない

原因 取り込み時に指定するドライブまたはフォルダが間違っています。

対処 メディアを挿入したリムーバブルディスクが選択されているか確認してください。また、画像はそのメディアの中の特定フォルダに保存されている場合があります。デジタルカメラの取扱説明書で確認してください。

原因 挿入したメディアが違っています。

対処 画像が撮影されたメディアかどうか確認してください。

デジタルカメラでメディアに画像が保存できなくなった

原因 パソコン側でメディアをフォーマットした、または必要なフォルダやファイルを削除したと思われます。

対処 デジタルカメラ側でもう１度フォーマットしてください。（メディアに保存されている内容はすべて消去されます。必要であれば、バックアップを取ってからフォーマットしてください。）フォーマット方法はデジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

リムーバブルディスクから動画ファイル(avi ファイル)を再生すると、音飛びすることがある

対処 動画ファイルをパソコン本体のハードディスクにコピーして、パソコン本体から再生してください。

接続から動作確認まで（Macintosh 編）

本製品の USB コネクタがパソコンの USB ポートに入らない

原因 本製品の USB コネクタの向きが正しくありません。

対処 コネクタの向きを変えてもう１度差し込んでください。向きが一致していれば、コネクタを差し込むのに力は必要ありません。

原因 パソコン（USB ハブ）側の USB ポートが違います。

対処 パソコン（USB ハブ）側の USB ポートの位置を取扱説明書などでご確認ください。

「必要なソフトウェアが見つかりません」と表示された

原因 正しくインストールされていません。

対処 本製品を取り外します。
53 ページ【サポートソフトのインストール】を参照して、インストールをやり直してください。インストール終了後、パソコンを再起動します。
その後、本製品を再度接続してみてください。

原因 デバイス認識されていません（USB ハブに接続した場合）。

対処 以下の方法を試してみてください。
- いったん、USB コネクタを抜いて、接続し直す。
- USB ハブの別のポートに接続してみる。

それでも同じ現象の場合は、USB ハブを使わず、パソコン本体の USB ポートに接続してください。

「今より多くの電力が必要なので、操作できません」と表示された

原因 USB ハブに接続した場合に、USB ハブから供給される電源が不足しています。

対処 USB ハブに AC アダプタを接続し、電源を供給してください。それができないときは、パソコン本体の USB ポートに接続してください。

原因 デバイス認識されていません（USB ハブに接続した場合）。

対処 以下の方法を試してみてください。
- いったん、USB コネクタを抜いて、接続し直す。
- USB ハブの別のポートに接続してみる。

それでも同じ現象の場合は、USB ハブを使わず、パソコン本体の USB ポートに接続してください。

使用時のトラブル（Macintosh 編）

本製品にメディアをセットしても、デスクトップ上にアイコンが表示されない

原因 メディアがセットされていません、または向きを間違えてセットしています。

対処 本製品にメディアを正しくセットしないと、ドライブアイコンはデスクトップ上に表示されません。メディアが正しくセットされていることを確認してください。メディアの出し入れ方法は 58～61 ページを参照してください。

原因 正しくインストールされていません。

対処 本製品を取り外します。
53 ページ【サポートソフトのインストール】を参照して、インストールをやり直してください。インストール終了後、パソコンを再起動します。
その後、本製品を再度接続してみてください。

原因 デバイス認識されていません（USB ハブに接続した場合）。

対処 以下の方法を試してみてください。
- USB コネクタを抜いて、接続し直す。
- USB ハブの別のポートに接続してみる。

それでも同じ現象の場合は、USB ハブを使わず、パソコン本体の USB ポートに接続してください。

原因 メディアの入れ方が遅すぎます。

対処 本製品を接続中にアクセスランプが点滅または消灯していないことを確認した後、USB コネクタを抜いて再度接続し直しメディアを素早く入れてみてください。

本製品の接続タイミングやメディアの挿入状況によって、[Apple システム・プロフィール]―[装置とボリューム]でのデバイス表示が違う

原因 本製品のドライバ仕様のため。

対処 メディア挿入済みの本製品を接続してから、OS を起動する場合と、その他の場合（OS 起動後に本製品を接続した場合など）では、デバイス表示が異なる場合があります。動作には問題ありませんのでそのままご使用ください。

アンインストール

本製品の使用を中止したいときや、インストールをもう１度やり直すときは、インストールした情報を削除する（アンインストール）必要があります。
アンインストールの方法は、お使いの OS の個所をお読みください。

・Windows 2000/Me/98 の場合　→　下記
・Macintosh の場合　→　93 ページ

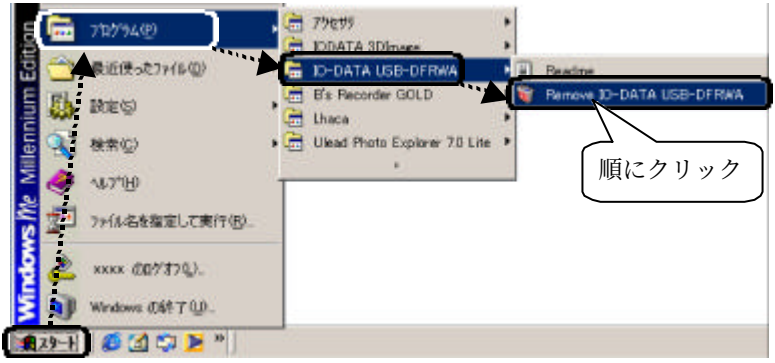
■ Windows 2000/Me/98 の場合 ■

1 本製品が使用中でないことを確認し、パソコンの USB ポートから本製品のケーブルを抜きます。

注意

Windows 2000 の場合、「終了手順」を行わずに本製品を取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。39 ページ【本製品を取り外す場合】を参照し、「終了手順」を行って本製品を取り外してください。

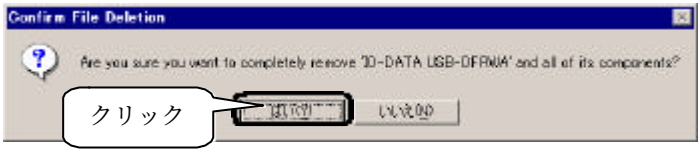
2 [スタート]→[プログラム]→[IO-DATA USB-DFRWA]→[Remove IO-DATA USB-DFRWA]を順にクリックします。



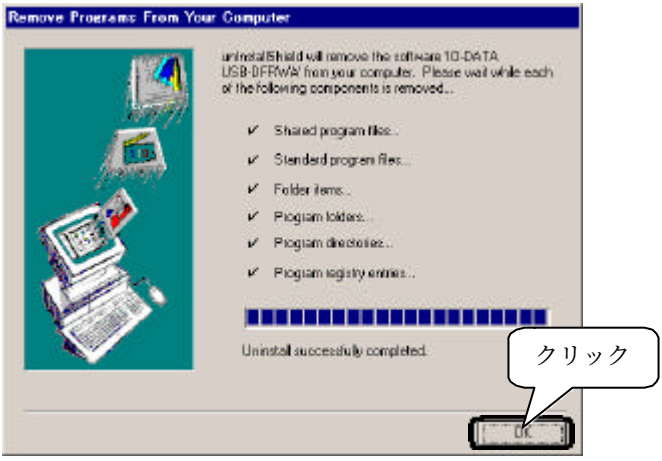
（上記の画面は、Windows Me の場合の例）

3 [はい]ボタンをクリックします。

アンインストールを開始します。



4 [OK]ボタンをクリックします。



これでアンインストールは完了です。

■ Macintosh の場合 ■

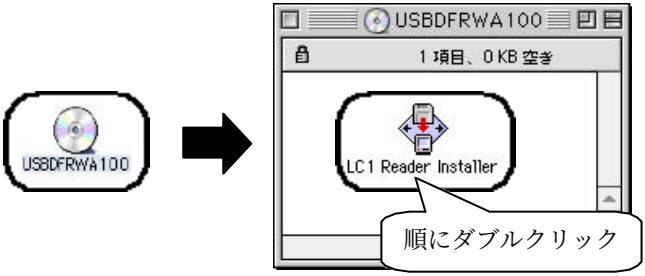
1 **本製品が使用中でないことを確認し、パソコンの USB ポートから本製品のケーブルを抜きます。**

2 **「USB-DFRWA サポートソフト」を CD-ROM ドライブにセットします**

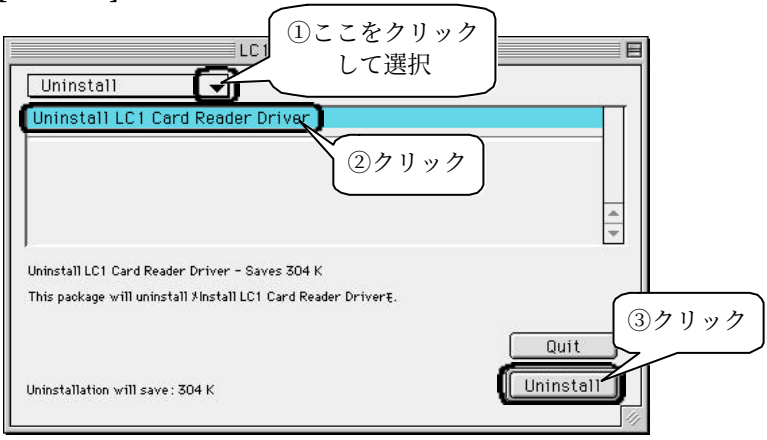


デスクトップ上に CD-ROM アイコンが表示されます。

3 **CD-ROM アイコン→[LC1 Reader Installer]を順にダブルクリックします。**

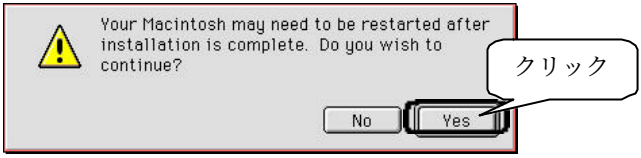


4 **[Uninstall]を選択し、[Uninstall LC1 Card Reader Driver]をクリックして、[Uninstall]ボタンをクリックします。**



5 [Yes]ボタンをクリックします。

アンインストール後にパソコンを再起動します。[Yes]ボタンをクリックして、アンインストールを開始します。



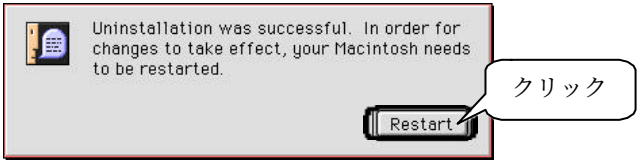
6 [OK]ボタンをクリックします。

いくつかのドライバはごみ箱に残りますが、パソコンの再起動でこれらのドライバは自動的に消去します。



7 [Restart]ボタンをクリックします。

アンインストールは終了しました。パソコンを再起動します。



ハードウェア仕様

型式番号	USB-DFRWA
インターフェイス	USB Specification Rev 1.1準拠 ホットプラグ対応
転送方式	コントロール転送、バルク転送
転送速度	1.5Mバイト/sec
電源電圧	DC 5.0V（バスパワーによる供給）
消費電流	90mA
対応メディア	コンパクトフラッシュ： （5Vで動作可能な、CFA準拠のもの） スマートメディア： （3.3V:4/8/16/32/64/128Mバイト） マイクロドライブ： 弊社製およびIBM社製のもの
動作環境（温度/湿度）	+5～35℃/+20～80%（結露しないこと）
外形寸法	90(W)×98(L)×28(H)mm
ケーブル長	約120cm
質量	約140g

用語解説

USB（ユーエスビー）　*(Universal Serial Bus)*

パソコンと周辺機器を接続する規格の１つで、パソコンと電話回線の接続性向上、接続のしやすさ、増設のしやすさなどを主な目的として1995年に公開されました。

- コネクタ形状の一元化により、周辺機器のインターフェイスが統一される。
- デスクトップパソコンでもノートパソコンでも使用できる。
- Hot Plug対応でパソコン起動中でも抜き差しできる。
- USBポートから電源供給が可能なので外部電源が要らない。
- 複数のIRQを使用しないので機器間の競合が少なくなる。

などの特長を持っています。

転送速度は、ハイスピード（480Mbps）、フルスピード（12Mbps）、ロースピード（1.5Mbps）の３種類あります。本製品は12Mbpsタイプです。

コンパクトフラッシュ *(Compact Flash)*

フラッシュメモリを記憶媒体としたコンパクトフラッシュは、電源を切っても内容が消えず（不揮発性）、電気的な消去も可能なことから、ハードディスクのような記憶媒体として利用されています。

コンパクトフラッシュは、1994年11月に発売された。マッチ箱ほどのサイズでPCMCIA ATA互換、デジタルカメラ、ハンドヘルドパソコン、オーディオレコーダなどに使用されています。アダプタを購入することで、PCカードで読み込むこともできます。

スマートメディア *(Smart Media)*

東芝が開発したフラッシュメモリの商品名。フロッピーディスクの１/４ほどの大きさで、超薄型のカードです。デジタルカメラの記憶媒体として使われています。アダプタを購入することで、PCカードで読み込むこともできます。

リムーバブルディスク（ドライブ）　*(Removable Disk Drive)*

着脱可能な記憶媒体のディスクドライブを指します。MO、Zip、PDなどが代表的なものですが、Windows上では、本製品もリムーバブルディスクとして認識されます。ハードディスクやフロッピーディスクとはアイコンの形や右クリックで表示されるメニューが異なっています。

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号。
2. ご使用の弊社製品名とサポートソフトのバージョン。
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョンおよびメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/support/
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを
使用して、E-mailをお送りください。

■郵便

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2 丁目84 番地 アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「USB-DFRWA」係　宛

■電話

電話番号　金沢　076-260-3661
東京　03-3254-1085
受付時間　9:30 ～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

■FAX

FAX 番号　金沢　076-260-3360
東京　03-3254-9055
宛先　株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「USB-DFRWA」係　宛

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サービス品に関するお問い合わせ

サービス品（添付ソフト）に関しては、以下へお問い合わせください。



サービス品につき、弊社ではサポート致しておりません。

「Photo Explorer 7.0 Lite」に関するお問い合わせ

住所	〒158-0097　東京都世田谷区用賀4-5-16　TEビル2F ユーリードシステムズ株式会社　ユーザーサポート窓口
TEL	03-5491-5662 （平日 10:00-12:00/13:00-17:00）
FAX	03-5491-5663
インターネット	http://www.ulead.co.jp/
E-mail	support@ulead.co.jp

Photo Explorer 7.0 Lite のユーザー登録

「Photo Explorer 7.0 Lite」に関するお問い合わせやアップグレードなどのサービスを受けるためには、ユーリードシステムズ㈱へのユーザー登録が必要です。
ユーザー登録されていない場合、サポートをお断りする場合もございます。ご了承ください。
本製品添付の「ユーザー登録カード」（ユーリードシステムズ㈱用）に所定の事項を記入してご投函ください。



サポート時に必要となるシリアル番号は再発行いたしませんので、お客様の責任で管理していただきますようお願い申し上げます。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/　→「サポートライブラリ」

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2 丁目84 番地　アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
『USB-DFRWA」 サービス窓口　宛

電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30 ～12:00　13:00 ～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■ご注意

オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

保証について

■保証期間

保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有料修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- 本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇メディアの逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
- 修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2 丁目84 番地　アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
『USB-DFRWA」 修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせについて

受付窓口　『USB-DFRWA」 サービス窓口
電話番号　金沢　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、上記までお問い合わせください。